

南西諸島のハゼ亜目魚類について (III)

林 公義*・鈴木寿之**・伊藤 孝***・瀬能 宏****

Gobiid Fishes of the Ryukyu Islands, southern Japan (III) —Suborder GOBIOIDEI—

Masayoshi HAYASHI*, Toshiyuki SUZUKI**, Takashi ITO***
and Hiroshi SENOU****

(With 1 text-figure and 14 plates)

During the last few years we investigated the gobiid fish fauna of the Ryukyu Islands mainly, and compiled the first catalogue and an additional list in 1978. The research has been continued since 1979 and is still in progress. Collection was made mainly on Ishigakijima and Iriomotejima Islands of Okinawa Pref., Japan.

96 species of the gobiid fish are known in rivers, estuaries, and shallow pools at low tide of these islands. We report here 68 additional species of the suborder Gobioidae from the Ryukyu Islands. In the research this time, we have been able to reidentify the gobiid fish which were reported in 1978.

New records in Japan are as follows: *Acentrogobius moloanus*, *Rhinogobius suluensis*, *Gladiogobius ensifer*, *Callogobius* cf. *plumatus*, *Istigobius spence*, *Istigobius aestuaris*, *Mars koumansii*, *Ctenogobius maculosus*, *Lotilia graciliosa*, *Mugilogobius tagara*, *Paragobiodon melanosomus*, *Paragobiodon xanthosomus*, *Ilana bicirrhosus*, *Favonigobius reichei*, *Amblygobius nocturnus*, *Amblygobius linki*, *Amblygobius decussatus*, *Quisquilius inhaca*, *Eviota bifasciatus*, *Eviota nigriventris*, *Kraemeria cunicularia*, *Kraemeria tongaensis*.

はじめに

1975年より継続して行っている南西諸島の浅海域、汽水域および淡水域魚類相調査の結果から、生息が確認されたハゼ科魚類については林・伊藤 (1978a, b) が目録的に報告した。これらの報告をあわせると計96種類のハゼ科魚類が南西諸島に分布することが判明した。しかしこれらの中には、従来のハゼ亜目魚類の文献からでは十分な種同定が困難なものも多く含まれ、29種は未同定種として扱った。その後さらに既報告種の採集個体数が増えたことと、この報告を機会にこれら未同定種の再検討が幾つかの研究機関で行われたこともあって前報までの報告種に新しい知見を追捕する必要性が高くなってきた。また前報で

* 横須賀市博物館 Yokosuka City Museum, Yokosuka, 238, Japan.

** 兵庫県川西市栄町 17-10 Sakae-cho, Kawanishi, 666, Japan.

*** 横須賀市南部保健所 Yokosuka City Nanbu Health Center, Yokosuka, 239, Japan.

**** 京都市伏見区寝小屋町 43 Negoya, Fushimi, Kyoto, 612, Japan.

原稿受理 1981年7月18日, 横須賀市博物館業績第294号

引用した文献のほか近年報告されたものの中から *Ctenogobiops* 属については LUBBOCK and POLUNIN (1977), *Amblyeleotris* 属, *Mars* 属は YANAGISAWA (1978), *Bathygobius* 属は明仁親王・目黒 (1980), *Eviota* 属は LACHNER and KARNELLA (1980) により未同定種や既知種の再同定を行うことができた。さらにオーストラリア博物館の D. F. HOESE 博士により前報で扱ったハゼ亜目魚類の一部が再検討された結果, 種の同定や属の扱い方などについて多くの知見を得ることができた。

本報ではこれらの結果を追加報告するとともに, 1979年以降の調査により南西諸島水域で採集したハゼ亜目魚類69種をあらたに報告する。これによって南西諸島の水域にはおよそ170種のハゼ亜目魚類が分布することが明らかになった。しかし TOMIYAMA (1936) や青柳 (1949a, b; 1957) などにより沖縄および八重山列島周辺水域から報告されているハゼ亜目魚類の中には著者らがまだ確認できない種類も相当ある。これらの種を含めるとおよそ220種類と推定できる。本報では日本における分布上の未記録種について, 従来の記載と充分に一致する種については和名をあたえた。

未検討な部分が多いことは前報と同様であるが, 今後さらに新しい知見を追補する予定である。

調査地および方法

調査と採集を行った地域は前報と同様, 南西諸島の石垣島, 西表島が中心である。本調査に協力された鈴木貞夫氏は黒島へ, 桜井淳史氏は沖縄本島へ渡島されており, 本報告にはその時の結果も一部記録した。ここで扱った資料の調査地域および期間は次の通りである。Fig. 1 に新しく加わった石垣, 西表両島の調査地域を含めて採集地点を図示した。1973年から1977年までの林・伊藤らによる調査地域と期間は前報に記したので, ここでは省略する。

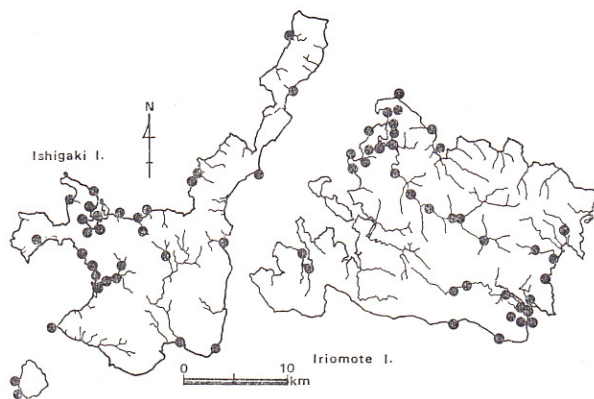


Fig. 1 The map showing the locations studied.

1974 III. 13~30.	西表島 (鈴木寿之・京屋・印具)
1975 III. 8~25.	西表島 (鈴木寿之・京屋・西)
1975 VII. 23~VIII. 14.	西表島 (鈴木寿之)
1976 III. 7~IV. 4.	石垣・西表島 (鈴木寿之・山守)
1978 II. 26~III. 27.	黒島 (鈴木貞夫)
1978 VII. 29~VIII. 23.	石垣・西表・黒島 (林・伊藤・鈴木貞夫)

- 1978 VII. 28~IX. 7. 石垣・小浜・西表・黒島 (鈴木寿之・石田・大村)
 1978 XII. 20~30. 西表島 (鈴木寿之・瀬能)
 1979 II. 23~V. 9. 石垣・黒島 (鈴木貞夫)
 1979 IV. 29~V. 9. 石垣・西表島 (林・伊藤)
 1979 VII. 3~28. 石垣・西表島 (鈴木寿之・瀬能・辻)
 1980 V. 27~VI. 5. 石垣・西表島 (林)
 1980 VIII. 14~21. 石垣・西表島 (林・伊藤・岩崎)
 1980 VIII. 5~28. 石垣・西表・黒島 (鈴木寿之・瀬能・倉津)

調査地域は河川の純淡水域, 細流, 水田地帯から河口域, 河口部の延長線上に発達する珊瑚礁海域などにおよんでいる。採集には手網(横 40×縦 25 cm)を用い, 潜水観察を併用した。また一部の調査域では投網, 刺網, 釣りによる採集も行い, 近年はスキューバ潜水による採集も行った。

調 査 結 果

ここでは沖縄本島, 石垣・西表島以外の採集地は省略した。

- | | | | |
|-------|--------------------|-------|------------------|
| ○石垣島 | Ishigakijima I. | 米原 | Yonehara |
| 荒川 | Arakawa Riv. | 吉原 | Yoshihara |
| 新崎 | Arasaki | ○西表島 | Iriomotejima I. |
| フガタ川 | Fugatagawa Riv. | アカイダ川 | Akaidagawa Riv. |
| フムレ川 | Fumuregawa Riv. | 網取湾 | Amitori Bay |
| 吹通川 | Fukidoogawa Riv. | 相良川 | Airagawa Riv. |
| フーネ | Fuune | 南風見 | Haimi |
| 平久保川 | Hirakubogawa Riv. | 星立 | Hoshitate |
| 伊土名 | Idona | 前良川 | Maeragawa Riv. |
| 川平湾 | Kabira Bay | 仲間川 | Nakamagawa Riv. |
| カワラ川 | Kawaragawa Riv. | 大原田 | Ooharada |
| 宮良川 | Miyaragawa Riv. | 大原 | Oohara |
| ミイダ川 | Miidagawa Riv. | サジ川 | Sajigawa Riv. |
| 元名蔵 | Motonagura | 祖納 | Sonai |
| 名蔵川 | Naguragawa Riv. | 住吉 | Sumiyoshi |
| 大川 | Ookawa Riv. | 豊原 | Toyohara |
| 大浜 | Oohama | 浦内 | Urauchi |
| 大田川 | Ootagawa Riv. | 浦内川 | Urauchigawa Riv. |
| ピチュタ川 | Pichutagawa Riv. | ウダラ川 | Udaragawa Riv. |
| 底地 | Sukuji | 与那田川 | Yonadagawa Riv. |
| 底地川 | Sukujigawa Riv. | ○沖縄本島 | Okinawa Pref. |
| シイウ川 | Shiugawa Riv. | 源河川 | Genkagawa Riv. |
| シーラ | Shiira | 辺野喜川 | Henokigawa Riv. |
| シタフキ川 | Shitafukigawa Riv. | 本部 | Motobu |
| 通路川 | Tsuurogawa Riv. | 屋部川 | Yabegawa Riv. |
| ウクラ川 | Ukuragawa Riv. | | |

1) ハゼ亜目魚類目録 (追録 2)

後記の目録は採集地(ローマ字), 横須賀市博物館魚類資料番号(YCM-P)および同魚類資料鈴木寿之・瀬能 宏コレクション番号(YCM-SSP), 個体数(丸括弧内), 採集日の順に記した。なお採集地名は前報と同様ローマ字綴りで表現した。本報で使用した地域名および新しく加わった採集地点は上記の通りであり, その他は前報を参照されたい。本文および図版中の種の配列はハゼ亜目魚類の分類大系にはもとずいていない。種名番号と図版(Pls. 1~12)中の番号は同一である。総体的な種の検索と学名の検討については前出の文献の他に下記の文献を引用した。なお前報(林・伊藤; 1978a, b)で引用してある文献(*印 1978a, **印 1978b)は文末の引用文献には載せてない。

明仁親王(1967a*) AKIHITO, Prince and MEGURO (1975*), 明仁親王・目黒(1977*, 1978**, 1980), 青柳(1942*, 1949a*, b*, 1957*), BLEEKER (1856-1857), CHEN (1959*), FOWLER (1927, 1943, 1946*, 1960), GOREN (1978a, b, 1979), 林(197^c, 1980), 林・伊藤(1978a, b), HERRE (1927*, 1933, 1945), JORDAN (1963), JORDAN and SEALE (1950, 1906*), KAMOHARA and YAMAKAWA (1968*), KLAUSEWITZ (1960), KOUMANS (1953*), KURAMOCHI (1980), LACHNER and KARNELLA (1980), LACHNER and McKINNEY (1978, 1979), LUBBOCK and POLUNIN (1977), 益田ほか(1980), 松原(1955*), MATSUBARA and IWAI (1959), OSHIMA (1919*), ROFEN (1958), SAKAI and NAKAMURA (1979), 桜井(1981), SAWADA (1977), SCHULTZ *et al.* (1966), SEALE (1914**), 四宮・島田(1980), SMITH, C. L. (1964), SMITH, H. M. and SEALE (1906), SMITH, J. L. B. (1946, 1949, 1956, 1958, 1959*, 1960), SNYDER (1908*), 鈴木(1976), 田中(1917), TOMIYAMA (1936*, (1958), TYLER (1971), WHITLEY (1933), YANAGISAWA (1978), YATSU and HAYASHI (1978**), YOSHINO and NISHIJIMA (1981).

GOBIOIDEI ハゼ亜目

GOBIIDAE ハゼ科

97. *Acentrogobius moloanus* (HERRE) フタスジノポリハゼ

Iriomotejima I., Yonadagawa Riv. YCM-SSP 8824 (1) 14. VII. 1979.

河口部の泥中から採集された。フィリピンのパナイ島から採集され, HERRE (1927) が *Aparrius* 属の新種 *A. moloanus* として報告した。KOUMANS (1953), FOWLER (1960) らは *Aparrius moloanus* を *Acentrogobius bontii* (BLEEKER, 1849) のシノニムにしている。KOUMANS は *A. moloanus* の模式標本と比較検討をしているが KOUMANS (1953; p. 52, fig. 14) の *A. bontii* の図と HERRE (1927; pl. 16, fig. 3) の *A. moloanus* の図とでは全く別種に見える。本種は HERRE の記載と図に一致するので学名は HERRE (1927) に従い, 和名は松原(1955)に従う。

98. *Acentrogobius* sp.

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-SSP 9062 (4) 13. VII. 1980: Yonadagawa Riv. YCM-SSP 8819 (10) 14. VII. 1979.

河口部の泥底または砂泥底で採集された。ツムギハゼ *Acentrogobius criniger* (CUVIER and VALENCIENNES, 1837) に類似するが, 体側斑紋の大きさ, 背鰭前部鱗数には明瞭な差が認められる。胴部に細い横帯があることもツムギハゼにはみられない特徴で, この横帯の雌雄による差は認められない。SMITH, J. L. B. (1959) によって記載された *Acentro-*

gobius audax との比較が今後必要である。

99. *Acentrogobius multifasciatus* (HERRE) セイタカスジハゼ (新称)

Iriomotejima I., Yonadagawa Riv. YCM-SSP 8820 (1) 14. VII. 1979; Nakamagawa Riv. YCM-SSP 8925 (2) 25. VII. 1979; YCM-SSP 9077 (11) 14. VII. 1980; YCM-SSP 9090 (1) 15. VII. 1980; Amitori Bay (Udaragawa Riv.) YCM-P 7482 (12) 15. VIII. 1980; YCM-P 7515 (12) 16. VIII. 1980.

河口や河口延長海域の砂泥底に生息する。転石下からも採集されるが、主にコアマモ (*Zostera nana*) が繁茂する砂泥底のテッポウエビ類孔道内より多く採集された。生時はスジハゼ *Acentrogobius pflaumi* BLEEKER, 1853 の体色とよく類似しているが頬部の輝青色斑点は少ない。体高比はスジハゼと有意差があり、一般に高い。青柳(1942)は沖縄本島糸満港で本種を採集している。HERRE (1927) は本種を *Rhinogobius* 属として記載しており、属の妥当性には問題があるが、記載はよく一致する。本種と *Acentrogobius multifasciatus* J. L. B. SMITH, 1959 とは別種である。

100. *Acentrogobius suluensis* (HERRE) ホホグロスジハゼ (新称)

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-P 6655 (1) 30. IV. 1979.

河口泥底よりスジハゼ, ハスジマハゼ *Criptocentroides insignis* (SEALE, 1910), マツゲハゼ *Oxyurichthys ophthalmonema* (BLEEKER, 1856-1857) などと一緒に採集された。HERRE (1927) はスル海沿岸より採集し、*Rhinogobius suluensis* として記載し、その中で小さな個体はツムギハゼに類似するが体側の斑紋が違うことを指摘している。ツムギハゼより体高は著しく低く、頭部頰域の孔器列群の配列はスジハゼに似る。

101. *Gladiogobius ensifer* HERRE トゲナガハゼ (新称)

Ishigakijima I., Sukujigawa Riv. YCM-P 6138 (1) 18. II. 1978.

干潮時の河口部砂底にできる水溜りでスナゴハゼ *Pseudogobius javanicus* (BLEEKER, 1856) と混獲された。前鰓蓋骨後縁に著しく長い一棘を有することは特異的であり、HERRE (1933) はこの特徴を *Gladiogobius* 属の標徴とし新属を設けた。YATSU and HAYASHI (1978) が報告したヒメホンハゼ *Asterropteryx ensiferus* (BLEEKER, 1874) にも前鰓蓋骨に強靱な一棘があるが、長さは *G. ensifer* と比較して著しく短い。腹鰭の腰帯基部に小黒点が左右1個ずつある。従来の分布はセイシェル諸島、フィリピン、モザンビーク沿岸だけから知られている。

102. *Bathygobius cyclopterus* (VALENCIENNES) ヤハズハゼ

Iriomotejima I., Sajigawa Riv. YCM-SSP 8150 (2) 29. III. 1975.

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 7297 (2) 5. VI. 1980; YCM-P 7347 (3) 29. V. 1980; YCM-P 7648 (2) 29. V. 1980.

103. *Bathygobius padangensis* (BLEEKER) クロヤハズハゼ

Iriomotejima I., Sajigawa Riv., YCM-SSP 8256 (1) 26. III. 1976; YCM-SSP 8305 (2) 1. VIII. 1978; YCM-SSP 8420 (1) 15. VIII. 1978; YCM-SSP 8845 (1) 19. VII. 1979; YCM-SSP 8857 (10) 20. VII. 1979.

104. *Bathygobius* sp.

Ishigakijima I., Hirakubogawa Riv. YCM-P 4791 (2) 3. VIII. 1978; Miyaragawa Riv. YCM-SSP 8266 (1) 1. IV. 1976; Naguragawa Riv. YCM-SSP 9032 (2) 11. VII. 1980.

河口の砂泥底上の転石下から採集され、現在のところ石垣島からだけ採集されている。明仁親王・目黒 (1980) による日本産クモハゼ属 *Bathygobius* の種の検索によると下顎

腹面の台形の皮蓋後側端は突出し、胸鰭遊離分枝鰭条は3鰭条で、体側前部の縦列斑の下方に3暗色斑があり、スジクモハゼ *Bathygobius cocosensis* (BLEEKER, 1854)、クモハゼ *B. fuscus* (RÜPPELL, 1828)、クロヤハズハゼ等の特徴を備えているのでここでは別種扱いをした。

105. *Oplopomops atherinoides* (PETERS) トンガリハゼ

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 4170 (3) 2. V. 1977.

生息場所はサンカクハゼ *Fusigobius neophytus* (GÜNTHER, 1875) と同様サンゴ礁下に湾入した砂底上である。林・伊藤 (1978a; pl. 19, fig. 69) が *Favonigobius* sp. として報告したもので、再同定の結果 *Oplopomops atherinoides* (PETERS, 1855) であることが判明した。YATSU and HAYASHI (1978) は同様に前報告の *Favonigobius* sp. (YCM-P 4171, pl. 19, fig. 68) が *O. atherinoides* であることを報告した。

106. *Fusigobius* sp.

Iriomotejima I., Amitori Bay YCM-P 7552 (4) 18. VIII. 1930; YCM-P 7559 (3) 19. VIII. 1980.

隆起サンゴ礁崖の水深約 10m の崖下に湾入した砂底上で採集した。生時の体色は乳白色で、第1背鰭第1, 2棘は延長し、先端の小黒斑が澄色で縁どられている。目立つこの第1背鰭をたえず神経質に前後に動かす動作はサンカクハゼとは異なる。また腹鰭は左右に分離し、癒合膜と膜蓋はいずれも痕跡的である。

107. *Callogobius sclateri* (STEINDACHNER) フタスジハゼ

Okinawa I., Motobu YCM-P 6440 (1) 6. II. 1979.

Ishigakijima I., Yonehara YCM-SSP 9170 (1) 5. VII. 1980.

108. *Callogobius snelli* (KOUMANS) シュンカンハゼ

Ishigakijima I., Tamatorizaki YCM-P 7758 (1) 11. VIII. 1930.

フタスジハゼとシュンカンハゼはいずれも岩礁性海岸のタイドプールで採集された。両種は外観上、非常に類似している。明仁親王・目黒 (1977) により両種は頭部感覚管の後眼肩胛管および前鰓蓋管の有無、体側横帯の幅と背鰭との位置関係などから査定できる。しかし同種の幼魚と成魚にみられる体側横帯の規則性は不安定と思われる。

109. *Callogobius* cf. *plumatus* (J. L. B. SMITH)

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-SSP 8913 (5) 25. VII. 1979.

河口の泥中から採集された。SMITH, J. L. B. (1959) により記載され、南アフリカ沿岸に生息が知られている *Drombus plumatus* と類似する。原記載では体長範囲が 28~50 mm の個体を用いており、成魚と思われる体長 50 mm の模式種の図と今回採集された個体の体側模様と外部計測値はほぼ一致する。今回採集された個体の全長範囲は 23.5~32.3 mm で小型である。*Drombus* 属は JORDAN and SEALE (1905) により、*D. palackyi* を模式種として提唱され、*Rhinogobius* 属との相違も記されている。HERRE (1927) はこの相違を *Rhinogobius* 属に含まれる多くの種の成長段階で普通に認められる変化であるとして *Rhinogobius* 属のシノニムにしている。SMITH, J. L. B. (1959) の見解による *Drombus* 属はこの模式種がもつ属の標徴が精査されてなかったと推測され、むしろ *Callogobius* 属を用いる方が妥当と思われる。

110. *Callogobius* sp.

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-SSP 9161 (1) 4. VIII. 1978.

河口部のマングローブ地帯の泥中から採集された。

111. *Gobiopsis quinquecincta* (H. M. SMITH) クラカケハゼ (新称)
Ishigakijima I., Yonehara YCM-SSP 9162 (1) 7. VII. 1980.

Gobiopsis 属は LACHNER and MCKINNEY (1978, 1979) によりインド-太平洋海域から13種が報告されている。本属の一種 *G. arenaria* は SNYDER (1908) によって始めて沖縄海域から *Heteroleotris arenarius* として報告された。青柳 (1949b) は イサゴハゼ *Pipidonia arenarius* (SNYDER) として石垣島, 沖縄本島から, KAMOHARA and YAMAKAWA (1968) は喜界島から報告している。また LACHNER and MCKINNEY (1978) によれば, 本種 *G. quinquecincta* (H. M. SMITH, 1931) と *G. bravoii* (HERRE, 1940) は沖縄本島に, *G. aporia* (LACHNER and MCKINNEY, 1978) は竹富島に分布する。*G. quinquecincta* と *G. arenaria* は体側や背部の鞍掛状斑紋は類似するが, 前者には前鰓蓋部後端に2個の感覚管開孔があることで区別できる。また鞍掛状斑紋は地域によって著しく変化するようである。なお本種は岩礁性海岸のタイドプールで採集された。

112. *Istigobius campbelli* (JORDAN and SNYDER) クツワハゼ

Iriomotejima I., Nakamagawa R. YCM-SSP 8931 (5) 25. VII. 1979; YCM-SSP 9071 (8) 14. VII. 1980.

河口の転石下から採集された。沖縄海域からはカザリハゼ *Istigobius* (= *Acentrogobius*) *ornatus* (RÜPPELL, 1828) が河口域や岩礁海岸で多く採集されるが, クツワハゼは確認されていなかった。SEALE (1914) は香港の市場から得た *Rhinogobius hongkongensis* を新種として記載しており, 青柳 (1942) も沖縄本島糸満港のタイドプールでこの *R. hongkongensis* を採集したことを報告している。TOMIYAMA (1936) は SEALE の *R. hongkongensis* をホシノハゼ *Gobius ornatus hoshinonis* (TANAKA, 1917) のシノニムリストに含めているが疑問符をつけている。田中 (1917) のホシノハゼの背鰭前部鱗数はおよそ18であり, 近縁のクツワハゼは平均して9~10なので両種を区別することができる。*R. hongkongensis* の原記載と図からはクツワハゼ属 *Istigobius* の一種であることは疑いなく, 背鰭前部鱗数が10であることからクツワハゼのシノニムと推定できる。

113. *Istigobius spencei* (J. L. B. SMITH) ヒメカザリハゼ (新称)

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 4426 (3) 27. II. 1978.

石垣島川平湾口に近い7m以深の隆起サンゴ礁崖下の砂底上から採集された。*Gobius spencei* は SMITH, J. L. B. (1946) により南アフリカのデラゴア湾から報告された。GOREN (1978a) は *Acentrogobius spencei* として紅海からの初記録を報告している。カザリハゼと外観は類似するが, *I. spencei* は两眼間隔が著しく狭いこと, 背鰭前部鱗数が平均8 (沖縄海域のカザリハゼでは10~11), 胸鰭遊離分枝鰭条が1鰭条 (カザリハゼでは4鰭条) であることから両種を区別することができる。

114. *Istigobius aestuaris* (J. L. B. SMITH) オキカザリハゼ (新称)

Iriomotejima I., Amitori Bay YCM-P 7493 (2) 15. VIII. 1980; YCM-P 7505 (1) 16. VIII. 1980; YCM-P 7585 (2) 20. VIII. 1980.

西表島網取湾奥の水深4m付近の泥底上から採集された。各個体の体長範囲は30mm前後で比較的小さいが, 採集時の目測においても同様な体長範囲のものが多く観察された。本種は SMITH, J. L. B. (1959) の *Acentrogobius aestuaris* の記載とよく一致する。背鰭前部鱗数8, 臀鰭下縁は黒く, 点列状の2本の黒縦線が体側を走る。第1背鰭基底中央部に1黒点を有するなどの外形的特徴を備えている。なお SMITH, J. L. B. (1959) の

A. aestuaris の模式標本の全長は 42~44 mm である。

115. *Oligolepis* sp.

Iriomotejima I., Yonadagawa Riv. YCM-SSP 8772 (1); YCM-SSP 8794 (2) 12. VII. 1979; Urauchigawa Riv. YCM-SSP 9150 (3) 26. VII. 1980.

Ishigakijima I., Naguragawa Riv. YCM-SSP 9011 (2) 9. VII. 1980; YCM-SSP 9030 (6) 10. VII. 1980.

Okinawa I., Genkagawa Riv. YCM-P 7723 (1) 26. VII. 1980.

汽水域から淡水域にかけての泥中または砂泥中からノボリハゼ *Oligolepis acutipinnis* (VALENCIENNES, 1837) とともに採集された。ノボリハゼに比べ生息数は少ない。体形、頭部感覚管開孔、孔器の配列、背鰭及び臀鰭の鰭条数、鱗数等がノボリハゼによく類似するため *Oligolepis* 属に入れたが、ノボリハゼとは眼下や体側の斑紋、上顎長等で明瞭に区別できる。上顎長は雌雄で著しく異なる。JORDAN and SEALE (1906) がサモアから報告した *Waitea mystacina* (VALENCIENNES, 1837) にもよく一致する。しかし、YANAGISAWA (1978) によれば JORDAN and SEALE (1906) のいう *W. mystacina* はカスリハゼ *Gobius mystacina* VALENCIENNES, 1837 とは別種であり、本種は未記載種と考えられる。

116. *Oxyurichthys* sp.

Ishigakijima I., Shiiugawa Riv. YCM-P 4001 (34) 6. V. 1977; YCM-P 4221 (2) 1. V. 1976; YCM-P 4222 (41) 1. V. 1976; Fukidougawa Riv. YCM-P 7652 (5) 30. V. 1980; Naguragawa Riv. YCM-SSP 9031 (1) 10. VII. 1980.

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-P 4721 (14) 5. VIII. 1978; YCM-SSP 8386 (1) 9. VIII. 1978; YCM-SSP 8872 (1) 20. VII. 1979; YCM-SSP 8878 (13) 22. VII. 1979; YCM-P 6628 (1) 28. IV. 1979; YCM-P 6645 (4) 30. IV. 1979; YCM-SSP 9060 (1) 13. VII. 1980; YCM-SSP 9076 (6) 14. VII. 1980; YCM-P 7665 (2) 29. VII. 1980; Yonadagawa Riv. YCM-SSP 8818 (3) 14. VII. 1979.

Okinawa I., Yabegawa Riv. YCM-P 7708 (1) 26. VII. 1980.

河口部の泥中からマツゲハゼとともに採集された。マツゲハゼに比べ生息数は少ない。サルハゼ *Oxyurichthys saru* TOMIYAMA, 1936 に類似するが、本種の後頭部は無鱗であることが異なっている。桜井 (1981; p. 204, fig. E) のタテガミハゼは本種に一致する。

117. *Mars albidorsus* YANAGISAWA シロオビハゼ

Iriomotejima I., Toyohara YCM-SSP 9178 (2) 19. VII. 1979.

Ishigakijima I., Yonehara YCM-SSP 9170 (2) 7. VII. 1980.

118. *Mars caeruleomaculatus* (HERRE) ウルマハゼ

Iriomotejima I., Amitori Bay YCM-P 7504 (2) 16. VIII. 1980; Sonai YCM-SSP 9183 (1) 15. VII. 1979.

Ishigakijima I., Yonehara YCM-SSP 9172 (1) 7. VII. 1980; YCM-SSP 9174 (1) 8. VII. 1980; Kabira Bay YCM-P 4788 (1) 9. VIII. 1978.

119. *Mars koumansii* (WHITLEY) ヒノマルハゼ (新称)

Iriomotejima I., Amitori Bay YCM-P 7503 (1) 16. VIII. 1980; YCM-P 7494 (1) 15. VIII. 1980.

120. *Mars nigrocellatus* YANAGISAWA クロホシハゼ

Ishigakijima I., Yonehara YCM-SSP 9163 (2) 7. VII. 1980.

Mars 属は YANAGISAWA (1978) により、シロオビハゼ、クロホシハゼ、ウルマハゼの 3 種が沖縄および南西諸島海域に分布することが知られ、いずれの種類もテッポウエビ類との共生が認められることを報告している。*Mars koumansii* は WHITLEY (1933) によ

り *Obtortioophagus koumansii* として報告された種であり、YANAGISAWA (1978) は *Obtortioophagus* 属を *Mars* 属のシノニムにしている。*O. koumansii* の頭部孔器列群の発達状態を検討した結果、本種を *Mars* 属に含めることは妥当と思われる。*M. koumansii* は水深 7 m 以浅の泥底中でテッポウエビ類と共生していた。採集された個体は体長 30 mm 前後の小個体であったが、潜水観察では目測全長 50 mm 以上の個体も同所に生息することを確認している。

121. *Cristatogobius* sp. トサカハゼ

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-P 6344 (44) 30. IV. 1979; YCM-SSP 8919 (72) 25. VII. 1979; YCM-SSP 9055 (2) 13. VII. 1980; Yonadagawa Riv. YCM-SSP 8821 (3) 14. VII. 1979.

河口部マングローブ地帯の泥中や、河口干潟のタイドプール泥底中から採集された。テッポウエビ類も同時に多く捕れるので、共生の可能性が推測される。HERRE (1927) が新属新種として報告した *Cristatogobius lophius* と外観上よく類似する。頭頂部には非常に大きく、長い皮べんを持ち、雌の皮べんは雄より低い。HERRE (1927) はこの特徴を持つハゼ類が東インド洋からは他に知られてない事を指摘し、新属をあたえた。原記載とは背鰭 (VI, I-10) の軟条数が本種 (VI, I-9) と違うことや、体側の暗褐色横帯が原図や記載 (5~6 本) と違い 7~8 本と多く、これらの点で本種を *C. lophius* と同定できない。また CHEN (1959) により新種として報告された同属の *C. albius* とは体色や体斑紋が本種とは全く異なるので別種と考えられる。生時の体色は林 (1980; 南の珍しいハゼ 3 種, fig. 3 トサカハゼ *Cristatogobius* sp.) を参照。

122. *Ctenogobiops feroculus* LUBBOCK and POLUNIN ヒメシノビハゼ

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 4787 (1) 9. VIII. 1978; YCM-P 6693 (3) 4. V. 1979; Yonehara YCM-SSP 9173 (1) 7. VII. 1980.

123. *Ctenogobiops maculosus* FOURMANOIR モヨウシノビハゼ (新称)

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 6692 (1) 4. V. 1979.

124. *Ctenogobiops pomastictus* LUBBOCK and POLUNIN シノビハゼ

Iriomotejima I., Amitori Bay YCM-P 7589 (1) 20. VIII. 1980.

Ishigakijima I., Yonehara YCM-P 7324 (1) 3. VI. 1980.

125. *Ctenogobiops* sp.

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 2834 (7) 11. V. 1976.

LUBBOCK and POLUNIN (1977) によりインド—西部太平洋から *Ctenogobiops* 属は 6 種が報告されており、沖縄海域には YANAGISAWA (1978), YOSHINO and NISHIJIMA (1981) らによりシノビハゼ *C. pomastictus* LUBBOCK and POLUNIN, 1977 とヒメシノビハゼ *C. feroculus* LUBBOCK and POLUNIN, 1977 が分布することが報告された。なお益田ほか (1980) によれば YANAGISAWA (1978) のシノビハゼ *C. crocineus* J. L. B. SMITH, 1959 は *C. pomastictus* であると報告された。本調査において石垣島から *C. maculosus* FOURMANOIR, 1955 を採集した。また林・伊藤 (1978a) が報告した *Amblyeleotris* sp. (YCM-P 2745) は *C. crocineus* と再同定され、現在のところ南西諸島海域には未同定種をふくめると 5 種類の *Ctenogobiops* 属が分布することが明らかになった。全てテッポウエビ類との共生が観察され、石垣島では前記 5 種が共に同じ海域のサンゴ砂底上に生息している。*C. maculosus* はこれら 5 種の中では最も動作が鋭敏で、生息個体数も少ない。*Ctenogobiops* sp. はヒメシノビハゼに外観は類似するが、胸鰭の輝白点と背、臀鰭基底

部の斑紋がそれぞれ無いこと、腹鰭長が短いなどの相違点が認められたので類別した。

126. *Lotilia graciliosa* KLAUSEWITZ オドリハゼ (新称)

Ishigakijima I., Yonehara YCM-SSP 6169 (1) 7. VII. 1980.

現在までに石垣島からだけ採集記録があり、生態的にはテッポウエビ類との共生が確認されている。本種は KLAUSEWITZ (1960) により新属新種として報告された *L. graciliosa* と類似し、外部形態や数量計測値および生態的特徴もよく一致する。GOREN (1979) は本種を紅海だけに分布する固有種であると報告している。南西諸島における分布も調査の進展につれて拡大することが推測される。YANAGISAWA (1978) に基づき、数属の共生ハゼ類の頭部孔器列群の発達状態と比較した結果、孔器列群は最もよく発達している *Mars* 属に類似していた。しかし感覚管の後眼肩胛管はない。胸鰭を大きく開き波打たせながら、巢孔上数センチの位置で体をほぼ垂直にして優雅な遊泳をする。同じ生息地には *Ctenogobiops* 属が多数観察された。

127. *Mugilogobius tagara* (HERRE) ホホグロハゼ

Iriomotejima I., Yonadagawa Riv. YCM-SSP 8478 (27) 30. VIII. 1978; YCM-SSP 8665 (3) 30. XII. 1978; YCM-SSP 8783 (2) 12. VII. 1979; YCM-SSP 8804 (1) 13. VII. 1979; Urauchigawa Riv. YCM-SSP 8485 (2) 1. IX. 1978; Sumiyoshi YCM-SSP 8579 (47) 25. XII. 1978; Hoshitate YCM-SSP 8655 (44) 28. XII. 1978.

汽水性の湿地や干潮時に露出する汽水域の泥底に多数生息している。OSHIMA (1919) により台湾から記載された *Glossogobius parvus* とよく一致する。TOMIYAMA (1936) は縦列鱗数は多少異なるが *G. parvus* を HERRE (1927) の記載した *Tamanka tagara* と同一種であるとして報告している。TOMIYAMA (1936) ではホホグロハゼ *Gobius parvus* にしているが、ここでは属名に *Mugilogobius* を用い、種小名と和名は TOMIYAMA (1936) に従った。しかし、縦列鱗数の問題については今後の検討が必要である。尾鰭にある斑紋の存在が本種の特徴である。

128. *Mugilogobius* sp.

Iriomotejima I., Sajigawa Riv. YCM-SSP 8296 (4) 30. VII. 1978; YCM-SSP 8454 (2) 29. VIII. 1978; YCM-SSP 8900 (5) 24. VII. 1979; Nakamagawa Riv. YCM-SSP 8366 (1) 8. VIII. 1978; YCM-SSP 8912 (4) 25. VII. 1979; YCM-SSP 9067 (1) 13. VII. 1980; Yonadagawa Riv. YCM-SSP 8621 (1) 27. XII. 1978; YCM-SSP 8666 (1) 30. XII. 1978.

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-SSP 8182 (7) 10. V. 1976; Sukujigawa Riv. YCM-SSP 8491 (6) 6. IX. 1978; YCM-SSP 8719 (3) 5. VII. 1979; YCM-SSP 8737 (2) 7. VII. 1979.

129. *Mugilogobius* sp.

Iriomotejima I., Yonadagawa Riv. YCM-SSP 9167 (1) 30. VIII. 1978.

南西諸島の *Mugilogobius* 属はホホグロハゼの他にも2種採集されていたが、fig. 128 の *Mugilogobius* sp. が河口部の泥底から新たに採集された。とくにマングローブ地帯に多く、体側の不規則な斑紋が本種の特徴である。また fig. 129 の *Mugilogobius* sp. は同様に河口部の泥底から採集され、非常に稀な種類である。体全体が褐色で目だった斑紋がないこと、鱗が大きいこと等で南西諸島産の他の本属魚類と明瞭に区別できる。

130. *Pseudogobius* sp.

Iriomotejima I., Sumiyoshi YCM-SSP 8575 (11) 25. XII. 1978; Urauchi YCM-SSP 8586 (1) 25. XII. 1978.

スナゴハゼ *Pseudogobius javanicus* (BLEEKER, 1856) によく類似するが、頭部およ

び体側の斑紋等に相違がみられる。スナゴハゼは河口部の砂泥底に生息するが、本種は汽水性の湿地および干潮時に露出する河口部の泥底で採集された。

131. *Kelloggella cardinalis* (JORDAN and SEALE) アカヒレハダカハゼ

Kuroshima I. YCM-SSP 9165 (1) 11. VII. 1980.

岩礁性海岸のタイドプールで採集された。本種はサモア、トンガおよびグアム島海域から報告があり、KURAMOCHI (1980) により台湾からの分布記録が追加された。沖縄海域から同属のハダカハゼ *K.* (= *Agunia*) *quindecimfasciata* が FOWLER (1946) によって、*K. centralis* HOESE, 1975 は SAWADA (1977) によってそれぞれ奄美大島に分布することが報告されている。本種は未だ沖縄海域からの記録はなかったが、久米島と瀬底島(沖縄本島)で採集され、YOSHINO and NISHIJIMA (1981) によりアカヒレハダカハゼとして報告された。本種は同属の他種と異なり体側に横斑や斑紋が全くない。

132. *Paragobiodon echinocephalus* (RÜPPELL) ダルマハゼ

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 4411 (1) 26. II. 1978; YCM-P 4442 (2) 3. III. 1978.

133. *Paragobiodon melanosomus* (BLEEKER) クロダルマハゼ (新称)

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 8043 (2) 3. III. 1978.

134. *Paragobiodon xanthosomus* (BLEEKER) アカネダルマハゼ (新称)

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 8042 (1) 3. III. 1978.

林・伊藤 (1978a) がダルマハゼ *P. echinocephalus* (RÜPPELL, 1828) として報告した資料と未報告の資料を再同定の結果、クロダルマハゼ、アカネダルマハゼ、*P. modestus* (REGAN, 1908; 林・伊藤 1978a, YCM-P 4167, pl. 14, fig. 34) などが混同されていた。沖縄海域にはこの4種が分布し、さらに大江(未報告)により奄美群島加計呂麻島から *P. lacunicolus* (KENDALL and GOLDSBOROUGH, 1911) が採集されている。ダルマハゼ類はヤサイサンゴ科のショウガサンゴ属 *Stylophora* とトゲサンゴ属 *Seriatopora* のサンゴ枝間に生活し、種によって利用するサンゴの種類に相違があるという結果を TYLER (1971) が報告している。本資料については採集時の共生サンゴ類を観察していないので、この点については未確認である。

135. *Gobiodon micropus* GÜNTHER アイコバンハゼ

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 4457 (2) 17. III. 1978; YCM-P 4475 (1) 27. III. 1978.

Iriomotejima I., Amitori Bay YCM-P 7579 (7) 20. VIII. 1980.

136. *Illana bicirrhosus* (WEBER) アゴヒゲハゼ (新称)

Ishigakijima I., Naguragawa Riv. YCM-SSP 9027 (1) 10. VII. 1980.

河川の下流部(汽水域)の砂泥底で採集された。本属の特徴は SMITH, H. M. and SEALE (1906) によって報告されているように、下顎の前端に左右1対の顎鬚を持っていることである。外観は *Glossogobius* 属によく類似し、各鱗の鱗条数や縦列鱗数は Prince AKI-HITO and MEGURO (1975) の *Glossogobius* 属の平均値とよく一致する。また頭部孔器列の配列様式もほぼ同様であるが、本種には鰓蓋下部の孔器列群が無い。背鱗前部鱗数は16である。

137. *Favonigobius reichei* (BLEEKER) ミナミヒメハゼ (新称)

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-P 6619 (4) 28. IV. 1979; YCM-P 6651 (8) 30. IV. 1979; YCM-P 7284 (2) 3. VI. 1980; YCM-P 7670 (2) 29. VII. 1980; Urauchi-

gawa Riv. YCM-P 6667 (2) 2. V. 1979; Sonai YCM-P 1421 (3) 12. IV. 1974; YCM-P 4732 (1) 6. VIII. 1978; Sumiyoshi YCM-P 6679 (5) 2. V. 1979.
 Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 1446 (1) 25. IV. 1974; YCM-P 1569 (1) 13. X. 1973; YCM-P 1790 (4) 26. II. 1975; YCM-P 1805 (12) 26. II. 1975; YCM-P 1817 (4) 26. II. 1975; Shiugawa Riv. YCM-P 2581 (6) 1. V. 1976; YCM-P 2641 (2) 1. V. 1976; YCM-P 2656 (119) 1. V. 1976; YCM-P 3947 (61) 19. VII. 1977; YCM-P 4009 (13) 6. V. 1977; YCM-P 7686 (4) 3. VIII. 1980; Hirakubogawa Riv. YCM-P 4670 (1) 3. VIII. 1978; Tsuurogawa Riv. YCM-P 4622 (3) 3. VIII. 1978; Shitafukigawa Riv. YCM-P 2619 (17) 29. IV. 1976; Naguragawa Riv. YCM-P 1751 (37) 21. II. 1975; YCM-P 1424 (1) 11. IV. 1974; Sukujigawa Riv. YCM-P 2557 (14) 25. IV. 1976; Ukuragawa Riv. YCM-P 4652 (3) 3. VIII. 1978; Ookawa Riv. YCM-P 2600 (8) 29. IV. 1976; YCM-P 1549 (13) 20. X. 1973; Oohama YCM-P 4701 (1) 4. VIII. 1978; YCM-P 7360 (19) 4. VI. 1980; Arasaki YCM-P 7376 (6) 30. V. 1980.
 Kohamajima I. YCM-P 1394 (4) 6. IV. 1974; YCM-P 1401 (1) 7. IV. 1974; YCM-P 1413 (2) 9. IV. 1974; YCM-P 1418 (1) 9. IV. 1974; YCM-P 1480 (4) 23. IV. 1974.
 Okinawa I., Yabegawa Riv. YCM-P 7707 (2) 26. VII. 1980.

南西諸島の河川汽水域の砂底や河口から続く海岸線の砂地に広く分布し、干潮時にスナゴハゼと一緒に採集された。林・伊藤 (1978a) がヒメハゼ *Favonigobius gymnauchen* (BLEEKER, 1860) として報告した資料中にも混同されていた。ヒメハゼに体形、体色や斑紋などが類似する。背鰭と臀鰭の鰭条数は VI-I, 8 と I, 8 で、それぞれヒメハゼの VI-I, 9 と I, 9 よりも1軟条ずつ少ない。沖縄海域には広く分布するが、本館の資料では鹿児島県種ヶ島で採集した資料が北限となっている。SMITH, J. L. B. (1960) によればインド-太平洋に広く分布する種類とされている。

138. *Silhouettea* sp.

Ishigakijima I., Naguragawa Riv. YCM-SSP 9042 (3) 11. VII. 1980.

河口の細砂中から *Kraemeria cunicularia* ROFEN, 1958 と一緒に採集された。SMITH, J. L. B. (1959) が新属新種として記載した *Silhouettea insinuans* に体形、孔器の配列、鱗数等がよく類似する。しかし本種とは背鰭および臀鰭の軟条数が少ないこと、体側の斑紋が異なる点でわずかに *S. insinuans* と区別できる。また SMITH, J. L. B. (1959) によれば *S. insinuans* も本種と同様にスナハゼ属 *Kraemeria* 魚類と一緒に砂中から採集されている。これらの点で本種に *Silhouettea* 属を与えることは妥当と思える。本属魚類もスナハゼ属の生活とほぼ同様な生活型を持つものと推測される。

139. *Lentipes armatus* SAKAI and NAKAMURA ヨロイボウズハゼ

Ishigakijima I., Arakawa Riv. YCM-P 7697 (6) 2. VIII. 1930.

Okinawa I., Henokigawa Riv. YCM-P 7711 (5) 27. VII. 1930.

140. *Sicyopus zosterophorum* (BLEEKER) フデハゼ

Ishigakijima I., Arakawa Riv. YCM-P 7696 (5) 3. VIII. 1930.

Okinawa I., Henokigawa Riv. YCM-P 7712 (1) 27. VII. 1930.

141. *Amblygobius nocturnus* (HERRE) ホホベニサラサハゼ (新称)

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-SSP 8938 (1) 25. VII. 1979; YCM-SSP 9033 (3) 14. VII. 1980; Amitori Bay YCM-P 7588 (2) 20. VIII. 1980; YCM-P 7591 (5) 17. VIII. 1930.

142. *Amblygobius linki* HERRE ワカケサラサハゼ (新称)

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-SSP 8937 (1) 25. VII. 1979; YCM-SSP 9140 (1) 23. VII. 1930.

143. *Amblygobius decussatus* (BLEEKER) ジュウモンジサラサハゼ (新称)

Iriomotejima I., Amitori Bay YCM-P 7506 (2) 16. VIII. 1980.

Amblygobius 属は内湾の主に河口延長上の水深 5m 以深の泥底上に多く生息し、巢孔を設けて数個体が同じ孔道で生活するのが観察された。*A. nocturnus* (HERRE, 1945) や *A. linki* HERRE, 1927 は河口砂泥底の転石下からも採集されている。南西諸島および沖縄海域からは従来サラサハゼ *A. albimaculatus* (RÜPPELL, 1828) とキンセンハゼ *A. hectori* (J. L. B. SMITH, 1956) の 2 種が報告されていたにすぎず、新たに 3 種を加えた 5 種類が分布することになる。*Amblygobius* 属はインド-太平洋海域から 11 種類が知られている。*A. decussatus* (BLEEKER, 1855) は *A. nocturnus* と混獲されていたので詳しい生態は不明である。J. L. B. SMITH, (1956) は *Amblygobius* 属に近縁な *Seychella* 属 (キンセンハゼと *S. tekomaji* J. L. B. SMITH, 1956 が含まれる) を設け、前鰓蓋部の鱗の有無を基準に *Amblygobius* 属 (前鰓蓋部は有鱗) と分けている。*S. tekomaji* は外観上 *A. nocturnus* や GOREN (1978b) の記載した *Ctenogobiops klausewitzi* とよく類似し、両種の前鰓蓋部は無鱗である。また *A. linki* の前鰓蓋部は無鱗であるが、*A. decussatus* は有鱗である。SMITH, J. L. B. (1956) が提唱する前鰓蓋部鱗の有無を基準とした両属の扱いには今後検討が必要と思われるので、ここでは *Amblygobius* 属を用いることにした。

144. *Schismatogobius* sp.

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-SSP 8948 (1) 26. VII. 1979; YCM-SSP 8973 (2) 28. VII. 1979; YCM-SSP 9109 (5) 18. VII. 1980.

145. *Schismatogobius* sp.

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-SSP 8947 (13) 26. VII. 1979; YCM-SSP 8972 (8) 28. VII. 1979; Airagawa Riv. YCM-P 7280 (4) 3. VI. 1980.
Ishigakijima I., Ootagawa Riv. YCM-P 7683 (2) 2. VIII. 1980; Hirakubogawa Riv. YCM-P 7646 (5) 2. VIII. 1980.

河川の渓流域や中流域で採集した。渓流域では淵頭の泥のかぶっていない隙間に、中流域では瀬の隙間に生息していた。頭部および体型は海産魚のエソ型であるが、体腹部は相当柔軟で小礫の形に体型を自由に曲げ、潜ることができる。体側は無鱗。上顎長には著しい雌雄差が認められる。HERRE (1927) の *Gobiosoma insignum* は KOUMANS (1953) により *Schismatogobius bruynisi* DE BEAUFORT, 1913 のシノニムにされている。*S. bruynisi* と今回採集された *Schismatogobius* 属 2 種との検討はまだ充分に行っていない。体形や、斑紋の形状からは *Schismatogobius* sp. (pl. 10, fig. 144, YCM-SPP 8948) の雄が KOUMANS (1953; p. 20, fig. 3) と類似する。*Schismatogobius* 属はフィリピン、スマトラに分布するほかオーストラリアにも分布しており、本種らは既知種とは別種の可能性が高いことを D. F. HOESE 博士より指摘された。

146. *Eleotris melanosoma* BLEEKER オカメハゼ

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-SSP 8108 (1) 16. III. 1974; YCM-SSP 8110 (1) 17. III. 1974; YCM-SSP (4) 10. III. 1975; YCM-SSP 8139 (1) 17. III. 1975; YCM-SSP 8218 (18) 19. III. 1976; YCM-SSP 8229 (1) 20. III. 1976; YCM-SSP 8323 (7) 4. VIII. 1978; YCM-SSP 8367 (2) 8. VIII. 1978; YCM-SSP 8401 (41) 10. VIII. 1978; YCM-SSP 8879 (5) 22. VII. 1979; YCM-SSP 9058 (1) 13. VII. 1980; YCM-SSP 9112 (5) 19. VII. 1980; YCM-SSP 8959 (21) 26. VII. 1979; YCM-SSP 8963 (47) 27. VII. 1979; Ooharada YCM-SSP 8152 (1) 23. VII. 1975; YCM-SSP 8207 (4) 17. III. 1976; YCM-SSP 8875 (1) 21. VIII. 1979; Yonadagawa Riv. YCM-SSP 8468 (1) 30. VIII. 1978; YCM-SSP 8976 (1) 30. XII. 1978; Sajigawa Riv. YCM-SSP 8457 (2) 29.

VIII. 1978; YCM-SSP 8337 (4) 6. VIII. 1978; YCM-SSP 8278 (2) VII. 30. 1978; YCM-SSP 8896 (4) 24. VII. 1979; Urauchi YCM-SSP 8442 (1) 20. VIII. 1978; Sumiyoshi YCM-SSP 8752 (1) 10. VII. 1979.
 Ishigakijima I., Sukujigawa Riv. YCM-SSP 8489 (1) 6. IX. 1978; YCM-SSP 8716 (2) 5. VII. 1979; YCM-SSP 8721 (2) 5. VII. 1979; YCM-SSP 8728 (2) 6. VII. 1979; Miyaragawa Riv. YCM-SSP 8270 (8) 1. IV. 1976; Fukidoogawa Riv. YCM-SSP 8274 (1) 4. IV. 1976; Fumuregawa Riv. YCM-SSP 8180 (1) 10. III. 1976; Miidagawa Riv. YCM-SSP 8507 (1) 7. IX. 1978; Motonagura YCM-SSP 8171 (1) 9. III. 1976; Fugatagawa Riv. YCM-SSP 8702 (1) 3. VII. 1979; Pityutagawa Riv. YCM-SSP 8712 (1) 4. VII. 1979; Shiira YCM-SSP 9013 (1) 9. VII. 1980; Naguragawa Riv. YCM-SSP 9003 (1) 9. VII. 1980.

河川の汽水域から淡水域にかけて広範囲に生息している。また水田地帯でも採集された。特にマングローブ地帯に多い。本種の同定には明仁親王 (1967a) を用いた。

147. *Parioglossus dotui* TOMIYAMA サツキハゼ

Iriomotejima I., Maeragawa Riv. YCM-SSP 8260 (9) 27. III. 1976; Nakamagawa Riv. YCM-P 6623 (3) 28. IV. 1979; YCM-SSP 9088 (61) 15. VII. 1980; Airagawa Riv. YCM-SSP 9118 (30) 21. VII. 1980; Urauchigawa Riv. YCM-SSP 9149 (2) 26. VII. 1980.

Ishigakijima I., Shitafukigawa Riv. YCM-SSP 8188 (15) 11. III. 1976; YCM-SSP 8195 (1) 12. III. 1976; Miyaragawa Riv. YCM-SSP 8271 (3) 1. IV. 1976; Naguragawa Riv. YCM-SSP 9043 (1) 11. VII. 1980.

河口や河口延長海域に主としてみられるが、時に淡水域近くでも採集される。中層で群をなして浮遊または遊泳している。TOMIYAMA (1959) が長崎から記載した *Parioglossus dotui* によく一致する。南西諸島には本種の他、本属魚類としてヨスジハゼ *P. taeniatus* REGAN, 1912 (林・伊藤; 1978b, pl. 4 fig. 84) と *Parioglossus* sp. が生息するが、本種は体側の斑紋、背鱗・臀鱗・胸鱗の鱗条数、頭部感覚管の有無及び開孔等で他2種と明瞭に区別できる。*Parioglossus* 属の内では最も北まで分布する種類で千葉県以南にみられる。HERRE (1945) がミンダナオ島から記載した *Herreolus* (= *Parioglossus*) *philippinus* によく類似しており、今後の比較が必要である。

148. *Parioglossus* sp.

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-SSP 8335 (1) 4. VIII. 1978; YCM-SSP 8373 (2) 8. VIII. 1978; YCM-SSP 9087 (37) 15. VII. 1980; Yonadagawa Riv. YCM-SSP 8629 (1) 27. XII. 1978; YCM-SSP 8678 (1) 30. XII. 1978; Oohara YCM-SSP 8905 (155) 24. VII. 1979.

Ishigakijima I., Shitafukigawa Riv. YCM-SSP 8189 (1) 11. III. 1976; YCM-SSP 8194 (1) 12. III. 1976; Hirakubogawa Riv. YCM-P 7644 (2) 28. V. 1980.

主として河口や河口延長海域に生息するが、岩礁性海岸でもみられた。サツキハゼやヨスジハゼ同様、中層で群生活をする。岩礁性海岸ではヨスジハゼと混合群を作る。満潮時は中層にみられるが干潮時は岩のすき間にかくれる。本種とサツキハゼはヨスジハゼに比べ好汽水性である。本属魚類はインド-太平洋海域に6~7種が分布しているようであるが総括的な報告はない。本種は頭部感覚管を全く持たないことでいずれの種類とも区別が可能である。鈴木 (1976; 珍しい琉球列島の淡水魚・p. 183) のヨスジハゼ *P. taeniatus* は再同定の結果、本種と一致した。

149. *Quisquilius inhaca* J.L.B. SMITH アミメベンケイハゼ (新称)

Kuroshima I., Kuroshima-harbor YCM-P 6543 (1) 1. IV. 1979.

150. *Quisquilius* sp.

Iriomotejima I., Amitori Bay YCM-P 7561 (1) 19. VIII. 1980.

隆起珊瑚礁崖の水深 7~10m 付近に生息し, *Qusiquilius* sp. は砂底の小礫下から採集した。沖縄海域から報告されているペンケイハゼ属 *Qusiquilius* は ペンケイハゼ *Q. naraharai* (SNYDER, 1908) だけであったが, SMITH, J. L. B. (1949) が記載した *Q. inhaca* も分布していることが明らかになった。体側の網目状模様が美しく, 頭部に5本の横帯がある。*Qusiquilius* sp. (YCM-P 7561, pl. 11, fig. 150) は *Q. inhaca* の幼魚(体長 14.8 mm) と推測できるが背鱗前部鱗数および縦列鱗数に一致をみないので, ここでは別種として扱った。GOREN (1978b) によって記載された *Q. mendelssohni* とも外観が類似するので標本を検討した結果, 頭頂部および両眼周縁にある特徴的な, 深い切れこみが本種にはなく, 感覚管の配列にも差が認められた。*Q. mendelssohni* は紅海の固有種として報告されている。またトカラ列島海域から, 四宮・島田 (1980; pl. 2, fig. 20) により *Qusiquilius* sp. が記録されているが, 詳しい比較はまだ行っていない。

151. *Asterropteryx* sp.

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 4469 (1) 25. III. 1978.

内湾のサンゴ塊の下から1個体採集された。外部形態はホンハゼ *A. semipunctatus* RÜPPELL, 1828 に類似する。YATSU and HAYASHI (1978) は同じようにホンハゼと類似するヒメホンハゼ *A. ensifer* (BLEEKER, 1874) を報告し, 前鰓蓋骨後端に1棘を有することの特徴を上げた。本種は前鰓蓋骨側縁に4小棘を持ち, 後端にも著しく長い1棘があり未報告の *Asterropteryx* 属の一種と思われる。体色は淡褐色で, 褐色の小斑点が多数点在する。眼下から上顎の前端と後端に2本の暗褐色帯があり, 第1背鱗前部と尾柄部後端に1小黑斑があるなどの特徴を持つ。

152. *Eviota afelei* JORDAN and SEALE シマミドリハゼ

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 1757 (1) 1. III. 1975; YCM-P 4166 (2 of 4) 2. V. 1977; Yonehara YCM-P 1812 (1 of 3) 25. II. 1975.

153. *Eviota bifasciatus* LACHNER and KARNELLA オヨギイソハゼ (新称)

Iriomotejima I., Amitori Bay YCM-P 7554 (7) 18. VIII. 1980; YCM-P 7565 (2) 19. VIII. 1980; YCM-P 7586 (1) 20. VIII. 1980.

154. *Eviota nigriventris* GILTAY ソメワケイソハゼ (新称)

Iriomotejima I., Amitori Bay YCM-P 7555 (55) 18. VIII. 1980; YCM-P 7562 (1) 19. VIII. 1980; YCM-P 7592 (1) 21. VIII. 1980; YCM-P 7587 (27) 20. VIII. 1980.

LACHNER and KARNELLA (1980) により, インド-太平洋海域のイソハゼ属 *Eviota* は31種報告されている。本調査において今までに採集された *Eviota* 属は7種で, 新たに3種を含めて10種となる。LACHNER and KARNELLA (1980) によって記載されたオヨギイソハゼとソメワケイソハゼの分布はフィリピン以南であった。両種は西表島から採集されただけであるが, 沖縄海域にも分布することが明らかになった。両種は内湾のサンゴ類, とくに *Acropora* 属の枝間やその周辺で比較的ゆっくりと群泳している。*Eviota* 属は調査が進むにつれ, 今後も種類数の増加が予想される。

155. *Trimma* sp. チゴベニハゼ

Kuroshima I., Hori YCM-P 6810 (1) IX. 1979.

156. *Trimma* sp.

Ishigakijima I., Yonehara YCM-P 7320 (1) 3. VI. 1980.

157. *Trimma* sp.

Ishigakijima I., Yonehara YCM-P 7764 (1) 11. VIII. 1980.

158. *Trimma* sp.

Kuroshima I., Hori YCM-P 6816 (1) IX. 1979.

沖縄海域のベニハゼ属 *Trimma* はベニハゼ *T. caesiura* JORDAN and SEALE, 1906 や青柳 (1949b) が記載したオキナワベニハゼ *T. okinawae* が知られている。四宮・島田 (1980) はトカラ列島海域からアオギハゼ *T. caudimaculata* YOSHINO and ARAGA, 1980 (益田ほか, 1980を参照) の他に *Trimma* 属3種 (四宮・島田, 1980; pl. 2, figs. 16~18, 種小名は不明) を報告した。*Trimma* 属に含まれる種類はまだ未記載のものが多く、今後種間の詳細な検討が必要である。採集時の観察では figs. 155, 156 の *Trimma* sp. は岩穴の天井側に逆位であることが普通で, fig. 157 の *Trimma* sp. は砂底のサンゴや小礫間の近くで生活するなどの生態的相違が認められた。

159. *Valenciennesa strigata* (BROUNSSONET) アカハチハゼ

Iriomotejima I., Amitori Bay YCM-P 7459 (1) 14. VIII. 1980.

Kuroshima I., Nakamoto YCM-P 6538 (2) III. 1979.

160. *Valenciennesa* sp.

Ishigakijima I., Kabira Bay YCM-P 7302 (1) 5. VI. 1980.

クロイトハゼ属 *Valenciennesa* (= *Eleotriodes*) は HOESE and LARSON (MS) によれば, インド-太平洋海域には7種の既知種と6種の未記載種が分布している。従来クロイトハゼ属には *Eleotriodes* BLEEKER, 1858 を用いていたが, JORDAN (1963) によれば *Valenciennesa* BLEEKER, 1856 を用いる方が妥当であり, 同様な指摘を D. F. HOESE 博士より受けた。Fig. 160 の *Valenciennesa* sp. は既知種に相当するものはなく未記載種と推定される。体全体が乳白色で第1背鰭中央に小黑点がある。頬部に淡褐色の小円斑がわずかにある他は体色に特徴はない。

RHYACICHTHYIDAE ツバサハゼ科

161. *Rhyacichthys aspro* (KUHLE and VAN HASSELT in CUVIER and VALENCIENNES
ツバサハゼ

Iriomotejima I., Nakamagawa Riv. YCM-P 6601 (1) 27. IV. 1979; YCM-SSP 8949 (1) 26. VIII. 1979; YCM-SSP 9100 (2) 17. VII. 1980; YCM-P 7634 (1) 30. VII. 1980; Maeragawa Riv. YCM-SSP 9134 (2) 22. VII. 1980.

河川の渓流域で採集された。滝口や急流の当る付近の岩盤にはりつくようにして定位している。運動性は昼より夜間の方が鈍い。水中での観察時は益田ほか (1980; p. 94, fig. 1N) に図示されているような淡黄色の大型個体を確認しているが, 採集されたものは全て桜井 (1981; p. 196, fig. A) に図示されている黒褐色の個体 (体長 50.9~235.0 mm) であった。幼魚の体色と斑紋型は林 (1979; 珍しい淡水の小魚たち, fig. 6 ツバサハゼ) を参照。

KRAEMERIIDAE スナハゼ科

162. *Kraemeria cunicularia* ROFEN リュウキュウナミノコハゼ (新称)

Iriomotejima I., Yonadagawa Riv. YCM-SSP 9152 (16) 27. VII. 1980.

Ishigakijima I., Sukuji-gawa Riv. YCM-SSP 8723 (8) 5. VII. 1979; YCM-SSP 8741 (73) 7. VII. 1979; Naguragawa Riv. YCM-SSP 9041 (13) 11. VII. 1980.

サンゴ礁海岸の波打ぎわの細砂中に多数生息する。また, わずかながら河口の細砂中か

らも採集された。細砂中に浅く潜って生活しており、サンゴ砂中に生息する生時の体色は半透明でめだつた斑紋を持たない。河口の砂中に生息するものは体側背面に不明瞭な波状の斑紋をもつ。ROFEN (1958) がパラオ諸島から記載した *Kraemeria cunicularia* によく一致する。MATSUBARA and IWAI (1959) は奄美大島から本種によく似たスナハゼ *K. sexradiata* を記載しているが、本種は胸鰭の鰭条数が8であることでスナハゼと明瞭に区別できる(スナハゼでは6)。

163. *Kraemeria tongaensis* ROFEN トングスナハゼ (新称)

Ishigakijima I., Sukujigawa Riv. YCM-SSP 8739 (1) 7. VII. 1979; Naguragawa Riv. YCM-SSP 9046 (1) 11. VII. 1980.

リュウキュウナミノコハゼ *Kraemeria cunicularia* ROFEN, 1958 とともに採集された。生息数はリュウキュウナミノコハゼにくらべかなり少ない。ROFEN (1958) がトンガ諸島から記載した *Kraemeria tongaensis* にほぼ一致する。リュウキュウナミノコハゼによく類似するが、本種は腹鰭にゆ合膜(湾入する)を持つことで両者は明瞭に区別できる。リュウキュウナミノコハゼの左右の腹鰭は完全に分離し、ゆ合膜はない。

164. *Kraemeridae* gen. et sp. indet.

Ishigakijima I., Sukujigawa Riv. YCM-SSP 8740 (1) 7. VII. 1979.
Iriomotejima I., Sumiyoshi YCM-SSP 9168 (1) 24. XII. 1978.

汽水域の細砂中から採集された非常に稀な種類である。ROFEN (1958) がフィリピンから報告した *Gobitrichinotus radiocularis* FOWLER, 1943 によく一致する。しかし、FOWLER (1943) がミンダナオ島から新属新種として記載したこの *G. radiocularis* は背鰭が2基あり、背鰭が1基の ROFEN (1958) のいう *G. radiocularis* とは明らかに異なっている。そのため ROFEN (1958) のいう *G. radiocularis* は未記載種と考えられる。腹鰭にゆ合膜(湾入せず)を持つこと、頭部および体側の背面に斑紋を持つこと等が本種の特徴である。

MICRODESMIDAE オオメワラスボ科

165. *Gunnellichthys pleurotaenia* BLEEKER オオメワラスボ

Kuroshima I., YCM-SSP 9166 (2) 18-19. VII. 1980.

サンゴ礁海岸の砂底で採集された。SCHULTZ *et al.* (1966) がグアム島およびフィリピンから報告した *Gunnellichthys pleurotaenia* BLEEKER, 1858 とよく一致する。また青柳 (1949b) が沖縄本島から報告したオオメワラスボ *Paragobioides gertrudae* (FOWLER, 1925) にもよく一致する。SMITH, J. L. B. (1958) や SCHULTZ *et al.* (1966) によれば *P. gertrudae* は *G. pleurotaenia* のシノニムである。よつて本種の科名および学名は SCHULTZ *et al.* (1966) に従い、また和名は青柳 (1949b) のオオメワラスボを用いた。体色は美しい黄色で、体側中央、背面、背鰭にそれぞれ黒色縦帯をもつこと等が本種の特徴である。

2) 既報告種の補訂

林・伊藤 (1978a, pls. 10~21, figs. 1~79; 1978b, pls. 4~6, figs. 80~96) による既報告種を再検討したので下記の通り、補訂を行う。なお * 印のついている種および属名の扱いについては D. F. HOESE 博士の指示を受けた。また一部 *Eviota* 属については S.

KARNELLA 氏に, *Bathygobius* 属については目黒勝介, 坂本勝一両氏により報告資料の再同定を受けた。

○ 7. *Eleotriodes* sp. (YCM-P 2839, pl. 10, fig. 7) は *Valenciennea** (= *Eleotriodes*) *longipinnis* (LAY and BENNETT, 1839) サザナミハゼの幼魚。

○ 報告に用いた *Eviota* 属 5 種は LACHNER and KARNELLA (1980) により以下のように再同定された。

Eviota abax (JORDAN and SNYDER, 1901) イソハゼ

YCM-P 1468 (1).

Eviota afelei JORDAN and SEALE, 1906 シマミドリハゼ

YCM-P 1757 (1), YCM-P 1812 (1 of 3), YCM-P 2926 (1 of 3), YCM-P 4166 (2 of 4).

Eviota prasina (KLUNZINGER, 1871) ナンヨウミドリハゼ (新称)

YCM-P 1414 (1), YCM-P 1486 (1), YCM-P 1812 (2 of 3), YCM-P 2482 (5), YCM-P 2580 (1), YCM-P 2754 (5), YCM-P 3714 (4), YCM-P 3715 (4), YCM-P 4069 (17) pl. 11, fig. 10.

Eviota prasites JORDAN and SEALE, 1906 アオイソハゼ

YCM-P 4767 (1) pl. 4, fig. 81.

Eviota queenslandica WHITLEY, 1932 ホシヒレイソハゼ (新称)

YCM-P 2523 (2), YCM-P 2926 (2 of 3), YCM-P 4068 (8) pl. 11, fig. 8, YCM-P 4166 (2 of 4).

Eviota smaragdus JORDAN and SEALE, 1906 アカホシイソハゼ

YCM-P 4070 (15) pl. 10, fig. 9.

Eviota storthynx ROFEN, 1959 イトイソハゼ (新称)

YCM-P 4168 (2) pl. 10, fig. 11.

Eviota sp.

YCM-P 1420 (1), YCM-P 1459 (1), YCM-P 2615 (1), YCM-P 2841 (4).

○ 17. *Amblyeleotris japonica* TAKGI, 1957 ダテハゼ (YCM-P 2746, plate 12, fig. 17) は YANAGISAWA (1978) により *A. steinitzi* (KLAUSEWITZ, 1974) ヒメダテハゼ。

○ 18. *Amblyeleotris* sp. (YCM-P 2745, pl. 12, fig. 18) は *Ctenogobiops crocineus** J. L. B. SMITH, 1959 ハマシノビハゼ (新称)。

○ 19. *Amblyeleotris* sp. (YCM-P 2756, pl. 12, fig. 19) は *Croilia* cf. *mossambica** J. L. B. SMITH, 1955.

○ 20. *Smilogobius singaporensis* HERRE, 1936 オイランハゼは YANAGISAWA (1978) により *Cryptocentrus singaporensis* (HERRE, 1936) のシノニム。

○ 21. *Smilogobius* sp. (YCM-P 2750, 2833, 4117) は YANAGISAWA (1978) により *Cryptocentrus flavus* YANAGISAWA, 1978 コガネハゼ。

○ 報告に用いた *Bathygobius* 属 3 種は明仁親王・目黒 (1980) により以下のように再同定された。

Bathygobius fuscus (RÜPPELL, 1828) クモハゼ

YCM-P 1393 (2), YCM-P 1457 (2), YCM-P 1470 (1), YCM-P 1484 (1), YCM-P 1491 (2), YCM-P 1744 (6), YCM-P 2616 (21) pl. 13, fig. 24, YCM-P 4010 (5),

YCM-P 4036 (3).

Bathygobius cocosensis (BLEEKER, 1854) スジクモハゼ

YCM-P 1527 (1), YCM-P 2480 (12) pl. 13, fig. 25, YCM-P 3980 (1), YCM-P 4076 (9).

Bathygobius sp.

YCM-P 4672 (2 of 7) pl. 5, fig. 88.

- 34. *Paragobiodon echinocephalus* (RÜPPELL, 1828) ダルマハゼ (YCM-P 4167, pl. 14, fig. 34) は *P. modestus** (REGAN, 1908) ヨゴレダルマハゼ (新称).
- 44. *Rhinogobius* cf. *decoratus* HERRE, 1927 (YCM-P 4225, pl. 16, fig. 44) は *Macrodontogobius wilburi** HERRE, 1936 マダラハゼ (新称).
- 48. *Gnatholepis knighti* JORDAN and EVERMANN, 1902 オオモンハゼ (YCM-P 2845, 2526, etc.) は *Acentrogobius cauerensis** (BLEEKER, 1853) のシノニム.
- 51. *Creisson validus* JORDAN and SEALE, 1907 カスミハゼ (YCM-P 3943, 3949, etc.) は *Acentrogobius janthinopterus** (BLEEKER, 1852) のシノニム.
- 53. *Oxyurichthys microlepis* (BLEEKER, 1849) タテガミハゼ (YCM-P 4001, pl. 17, fig. 53) は *O. ophthalmonema* (BLEEKER, 1856-1857) マツゲハゼの合成年.
- 62. *Acentrogobius* sp. (YCM-P 1502, 2637, etc., pl. 18, fig. 62) は *Drombus* 属* の一種.
- 65. *Favonigobius* sp. (YCM-P 2757, pl. 18, fig. 65) は FOWLER (1927) により *Cabillus tongarevae** (FOWLER, 1927) ヨリメハゼ (新称).
- 68., 69. *Favonigobius* sp. (YCM-P 4170, 4171, pl. 19, fig. 68, 69) は YATSU and HAYASHI (1978) により *Oplopomops atherinoides* (PETERS, 1855) トンガリハゼ.
- 72. Gobiidae sp. (YCM-P 2632, 3941, etc., pl. 20, fig. 7a, b) は明仁親王・目黒 (1978) により *Myersina macrostoma* HERRE, 1934 ハゴロモハゼ.
- 76. *Sicyopterus* sp. (YCM-P 1737, 2534, etc., pl. 20, fig. 76a, b) は *S. macrostetholepis* (BLEEKER, 1853) ルリボウズ.
- 78. Gobiidae sp. (YCM-P 2537, 3976, etc., pl. 20, fig. 78) は SAKAI and NAKAMURA (1979) により *Sicyopus leprurus* SAKAI and NAKAMURA, 1979 カエルハゼ.
- 79. *Taenioides* cf. *jacsoni* J. L. B. SMITH, 1943 (YCM-P 2639, 3945, etc., pl. 20, fig. 79) は SMITH, C. L. (1964) により *T. limicola* C. L. SMITH, 1964. ヒゲワラスボ (新称).
- 85. *Butis butis* (HAMILTON, 1822) ノコギリハゼ (YCM-P 4717, pl. 5, fig. 85) は *Butis amboinensis* (BLEEKER, 1853). ヤエヤマノコギリハゼ (新称).
- 92. Gobiidae sp. (YCM-P 4789, pl. 6, fig. 92) は *Oplopomus oplopomus* (VALENCIENNES, 1837). ケシヨウハゼ (新称).

謝 辞

本報告を作成するにあたり、現地での資料の調査と採集にご理解いただいた沖縄県水産試験場八重山支場、東海大学海洋研究所西表分室職員の方々に対しつつしんで感謝の意を

表する。さらに報文作成のため資料査定，文献紹介など指導援助を賜った Australian Museum の D. F. HOESE 博士，National Museum of Natural History, Smithsonian Institution の S. J. KARNELLA 氏，明仁親王殿下，長崎大学水産学部道津喜衛博士，東宮御所魚類研究室目黒勝介，坂本勝一両技官，国立科学博物館新井良一博士，東京大学総合研究資料館阿部宗明博士，富永義明博士に深厚なる謝意を表す。また本報は桜井淳史，鈴木貞夫，大村一浩，京屋光昭，印具芳昭，西 隆司，山守 忍，石田幸生，辻 保裕，倉津正敏，岩崎 洋諸氏の各調査年における惜しめない協力がなければ公表する機会に恵まれなかった。ここに深く感謝する。財団法人伊藤魚学研究振興財団からは本研究に対し昭和53年度研究助成金が鈴木寿之に与えられた。付記して謝意を表す。

引用文献

- The references (p. 4) with asterisk(s) are shown in HAYASHI and ITO (1978a)* and (1978b).**
- 明仁親王・目黒勝介 1980. 日本で採集されたクモハゼ属 *Bathygobius* 6 種について. 魚雑, 27(3): 215-236.
- FOWLER, H. W. 1927. Fishes of the tropical central Pacific. *B. P. Bishop Mus., Bull.*, 38: 1-32, pl. 1.
- 1943. Descriptions and figures of new fishes obtained in Philippine seas and adjacent waters by the United States Bureau of Fisheries Steamer "Albatross". *U.S. Natn. Mus., Bull.*, (100): 53-91.
- 1960. A synopsis of the fishes of China, IX the gobioid fishes. *Quart. Jour. Taiwan Mus.*, 13(3-4): 91-161.
- GOREN, M. 1978a. *Acentrogobius spence* (SMITH) new for the Red Sea, (Pisces: Gobiidae). *Senck. Biol.*, 58(3-4): 143-145.
- 1978b. A new gobiid genus and seven new species from Sinai Coasts, (Pisces: Gobiidae). *Ibid.*, 59(3-4): 191-203.
- 1979. The Gobiinae of the Red Sea, (Pisces: Gobiidae). *Ibid.*, 60(1-2): 13-64.
- 林 公義 1979. 珍しい淡水の小魚たち. 淡水魚, (5): カラーページ解説.
- 1980. 南の珍しいハゼ3種. 同上, (6): カラーページ解説.
- ・伊藤 孝 1978a. 南西諸島のハゼ科魚類について (I). 横須賀市博研報〔自然〕, (24): 59-82, pls. 10-21.
- ・——— 1978b. 同前 (II). 同上, (25): 29-34, pls. 4-6.
- HERRE, A. W. 1933. Twelve new Philippine fishes. *Copeia*, (1): 17-25.
- 1945. Notes on fishes in the Zoological Museum of Stanford University, VII new and rare Philippine gobies from the HERRE 1936-1937 oriental expedition, and in the collections of the Bureau of Science. *Philipp. Jour. Sci.*, 72(4): 357-369, pls. 1-6.
- JORDAN, D. S. 1933. The genera of fishes and a classification of fishes: i+xvi+800 pp., *Stanford Univ. Press, California*.
- and SEALE, A. 1905. List of fishes collected by Dr. Bashford DEAN on the island of Negros, Philippines. *Proc. U.S. Natn. Mus.*, 28: 769-803.
- KLAUSEWITZ, W. 1960. Fische aus dem Roten Meer, IV einige systematisch und ökologisch bemerkenswerte meergrundeln (Pisces, Gobiidae). *Senck. Biol.*, 41 (3-4): 149-162, pl. 1.
- KURAMOCHI, T. 1980. A new record of *Kellogella cardinalis* (Family Gobiidae) from Taiwan. *Japan. Jour. Ichthyol.* 27(3): 256-258.
- LACHNER, E. A. and KARNELLA, S. J. 1980. Fishes of the Indo-Pacific genus *Eviota* with descriptions of eight new species (Teleostei: Gobiidae). *Smithsonian Cont. Zool.*, (315): 1-127.
- and MCKINNEY, J. F. 1978. A revision of the Indo-Pacific fish genus *Gobiopsis* with descriptions of four new species (Pisces: Gobiidae). *Ibid.*, (262): 1-52.

- and —— 1979. Two new gobiid fishes of the genus *Gobiopsis* and a redescription of *Feia nympha* SMITH. *Ibid.*, (299): 1-18.
- LUBBOCK, R. and POLUNIN, N.V.C. 1977. Notes on the Indo-Pacific genus *Ctenogobiops* (Teleostei: Gobiidae), with descriptions of three new species. *Revue Suisse Zool.*, 84(2): 505-514, pls. 1-3.
- 益田 一・荒賀忠一・吉野哲夫 1980. 魚類図鑑・南日本の沿岸魚: 382 pp. (改訂版), 東海大学出版会, 東京.
- MATSUBARA, K. and IWAI, T. 1959. Description of a new sandfish, *Kraemeria searadiata*, from Japan, with special reference to its osteology. *Jour. Washington Acad. Sci.*, 49(1): 27-32.
- ROFEN, R. R. 1958. The marine fishes of Rennell Island. In the natural history of Rennell Island, British Solomon Islands 1. *Danish Sci. Press, Copenhagen*: 149-218, pls. 1-11.
- SAKAI, H. and NAKAMURA, M. 1979. Two new species of freshwater gobies (Gobiidae: Sicydiaphiinae) from Ishigaki Island, Japan. *Japan Jour. Ichthyol.*, 26(1): 43-54.
- 桜井淳史 1981. 野外ハンドブック・10, 魚 (淡水編): 223 pp., 山と溪谷社, 東京.
- SAWADA, Y. 1977. First record of the gobiid fish, *Kelloggella centralis*, from Japan. *Bull. Natn. Sci. Mus.*, [A], 3(3): 193-197. Tokyo.
- SCHULTZ, L. P., WOODS, L. P. and LACHNER, E. A. 1966. Fishes of the Marshall and Marianas Islands, 3. *Smithsonian Inst., U.S. Natn. Mus. Bull.*, (202): 1-52, pls. 1-11.
- SEALE, A. 1914. Fishes of Hongkong. *Philipp. Jour. Sci.*, [D], 9(1): 59-81, pls. 1-2.
- 四宮明彦・島田和彦 1980. トカラ列島周辺海域のサンゴ礁魚類相, 特異な海底地形をもつ琉球孤周辺海域の海洋学的研究. 鹿児島大学工学部昭和54年度文部省特定研究速報: 29-34, pls. 1-2.
- SMITH, C. L. 1964. *Taenioides limicola*, a new goby from Guam, Marianas Islands. *Micronesica*, 1(1-2): 145-150.
- SMITH, H. M. and SEALE, A. 1906. Notes on a collection of fishes from the island of Mindanao, Philippine Archipelago, with descriptions of new genera and species. *Proc. Biol. Soc. Washington*. 19: 73-82.
- SMITH, J.L.B. 1946. New species and new records of fishes from South Africa. *Ann. Mag. Nat. Hist.*, [11]13: 793-821.
- 1949. On fishes new to South Africa VII, forty-two fishes new to South Africa, with notes on others. *Ibid.*, [12]12: 97-111.
- 1956. The fishes of Aldabra, Part 5. *Ibid.*, [12], 9: 721-729.
- 1958. The gunnellichthid fishes with description of two new species from East Africa and of *Gunnellichthys (Clarkichthys) bilineatus* (CLARK), 1936. *Rhodes Univ. Ichthyol. Bull.*, (9): 123-129.
- 1960. Fishes of the family Gobiidae in South Africa. *Ibid.*, (18): 299-314.
- 鈴木寿之 1976. 珍しい琉球列島の淡水魚. 淡水魚, (2): 183, カラーページ解説.
- 田中茂穂 1917. 日本産魚類の三新種. 動雑, 29(346): 225-226.
- TOMIYAMA, I. 1959. Four eleotroid fishes belonging to the genus *Parioglossus*. *Annot. Zool. Japon.*, 32(2): 101-104.
- TYLER, J. C. 1971. Habitat preferences of the fishes that dwell in shrub corals on the Great Barrier Reef. *Proc. Acad. Nat. Sci. Phila.*, 123(1): 1-26.
- WHITLEY, G. P. 1933. Studies in ichthyology, 7. *Rec. Austr. Mus.*, 19(1): 60-112, pls. 11-15.
- YANAGISAWA, Y. 1978. Studies on the interspecific relationship between gobiid fish and snapping shrimp, I. gobiid fishes associated with snapping shrimps in Japan. *Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*, 24(4-6): 269-325, pls. 1-3.
- YOSHINO, T. and NISHIJIMA, S. 1981. A list of fishes found around Sesoko Island, Okinawa. *Sesoko Mar. Sci. Lab. Tech. Rep.*, (8): 19-87, pls. 1-3.

Explanation of plates 1-14

Plate 1

97. *Acentrogobius moloanus* (HERRE, 1927) フタスジノポリハゼ
YCM-SSP 8824 S.L. 22.9 mm
98. *Acentrogobius* sp.
YCM-SSP 8819 S.L. 46.4 mm
99. *Acentrogobius multifasciatus* (HERRE, 1927) セイタカスジハゼ
YCM-P 7515 S.L. 37.8 mm
100. *Acentrogobius suluensis* (HERRE, 1927) ホホグロスジハゼ
YCM-P 6655 S.L. 33.9 mm
101. *Gladiogobius ensifer* HERRE, 1933 トゲナガハゼ
YCM-P 6138 S.L. 23.7 mm

Plate 2

102. *Bathygobius cyclopterus* (VALENCIENNENS, 1837) ヤハズハゼ
YCM-P 7648 S.L. 27.2 mm
103. *Bathygobius padangensis* (BLEEKER, 1851) クロヤハズハゼ
YCM-SSP 8857 S.L. 65.2 mm
104. *Bathygobius* sp.
YCM-SSP 8266 S.L. 33.3 mm
105. *Oplopomops atherinoides* (PETERS, 1855) トンガリハゼ
YCM-P 4170 S.L. 36.2 mm
106. *Fusigobius* sp.
YCM-P 7552 S.L. 40.3 mm

Plate 3

107. *Callogobius sclateri* (STEINDACHNER, 1880) フタスジハゼ
YCM-SSP 9170 S.L. 39.8 mm
108. *Callogobius snelli* (KOUMANS, 1953) シュンカンハゼ
YCM-P 7758 S.L. 26.3 mm
109. *Callogobius* cf. *plumatus* (J.L.B. SMITH, 1959)
YCM-SSP 8913 S.L. 22.7 mm
110. *Callogobius* sp.
YCM-SSP 9161 S.L. 51.0 mm
111. *Gobiopsis quinquecincta* (H. M. SMITH, 1931) クラカケハゼ
YCM-SSP 9162 S.L. 23.3 mm

Plate 4

112. *Istigobius campbelli* (JORDAN and SNYDER, 1901) クツワハゼ
YCM-SSP 8931 S.L. 42.2 mm
113. *Istigobius spence* (J.L.B. SMITH, 1946) ヒメカザリハゼ
YCM-P 4426 S.L. 36.3 mm
114. *Istigobius aestuaris* (J.L.B. SMITH, 1959) オキカザリハゼ
YCM-P 7505 S.L. 30.3 mm
115. *Oligolepis* sp.
YCM-P 7723 S.L. 49.9 mm
116. *Oxyurichthys* sp.
YCM-SSP 8878 S.L. 40.3 mm

Plate 5

117. *Mars albidorsus* YANAGISAWA, 1978 シロオビハゼ
YCM-SSP 9178 S.L. 61.8 mm
118. *Mars caeruleomaculatus* (HERRE, 1933) ウルマハゼ
YCM-P 7504 S.L. 30.1 mm
119. *Mars koumansii* (WHITLEY, 1933) ヒノマルハゼ
YCM-P 7503 S.L. 19.1 mm
120. *Mars nigrocellatus* YANAGISAWA, 1978 クロホシハゼ
YCM-SSP 9163 S.L. 46.2 mm
121. *Cristatogobius* sp. トサカハゼ
YCM-SSP 9055 S.L. 42.0 mm

Plate 6

122. *Ctenogobiops feroculus* LUBBOCK and POLUNIN, 1977 ヒメシノビハゼ
YCM-P 6693 S.L. 39.1 mm
123. *Ctenogobiops maculosus* FOURMANOIR, 1955 モヨウシノビハゼ
YCM-P 6692 S.L. 56.2 mm
124. *Ctenogobiops pomastictus* LUBBOCK and POLUNIN, 1977 シノビハゼ
YCM-P 7324 S.L. 38.1 mm
125. *Ctenogobiops* sp.
YCM-P 2834 S.L. 34.6 mm
126. *Lotilia graciliosa* KLAUSEWITZ, 1960 オドリハゼ
YCM-SSP 9169 S.L. 28.9 mm

Plate 7

127. *Mugilogobius tagara* (HERRE, 1927) ホホグロハゼ
YCM-SSP 8655 S.L. 37.2 mm
128. *Mugilogobius* sp.
YCM-SSP 8900 S.L. 39.4 mm
129. *Mugilogobius* sp.
YCM-SSP 9167 S.L. 42.2 mm
130. *Pseudogobius* sp.
YCM-SSP 8586 S.L. 22.2 mm
131. *Kelloggella cardinalis* (JORDAN and SEALE, 1906) アカヒレハダカハゼ
YCM-SSP 9165 S.L. 9.2 mm

Plate 8

132. *Paragobiodon echinocephalus* (RÜPPELL, 1828) ダルマハゼ
YCM-P 4442 S.L. 25.1 mm
133. *Paragobiodon melanosomus* (BLEEKER, 1852) クロダルマハゼ
YCM-P 8043 S.L. 25.9 mm
134. *Paragobiodon xanthosomus* (BLEEKER, 1852) アカネダルマハゼ
YCM-P 8042 S.L. 21.8 mm
135. *Gobiodon micropus* GÜNTHER, 1861 アイコバンハゼ
YCM-P 4475 S.L. 28.9 mm

Plate 9

136. *Illana bicirrhosus* (WEBER, 1894) アゴヒゲハゼ
YCM-SSP 9027 S.L. 44.7 mm

137. *Favonigobius reichei* (BLEEKER, 1853) ミナミヒメハゼ
YCM-P 6651 S.L. 40.0 mm
138. *Silhouettea* sp.
YCM-SSP 9042 S.L. 26.2 mm
139. *Lentipes armatus* SAKAI and NAKAMURA, 1979 ヨロイボウズハゼ
YCM-P 7697 S.L. 48.8 mm
140. *Sicyopus zosterophorum* (BLEEKER, 1856-1857) フデハゼ
YCM-P 7696 S.L. 40.7 mm

Plate 10

141. *Amblygobius nocturnus* (HERRE, 1945) ホホベニサラサハゼ
YCM-P 7591 S.L. 47.9 mm
142. *Amblygobius linki* HERRE, 1927 ワカケサラサハゼ
YCM-SSP 8937 S.L. 25.6 mm
143. *Amblygobius decussatus* (BLEEKER, 1855) ジュウモンジサラサハゼ
YCM-P 7506 S.L. 33.1 mm
144. *Schismatogobius* sp.
YCM-SSP 8948 S.L. 31.4 mm
145. *Schismatogobius* sp.
YCM-SSP 8947 S.L. 23.2 mm

Plate 11

146. *Eleotris melanosoma* BLEEKER, 1852 オカメハゼ
YCM-SSP 9112 S.L. 42.5 mm
147. *Parioglossus dotui* TOMIYAMA, 1959 サツキハゼ
YCM-SSP 9118 S.L. 23.8 mm
148. *Parioglossus* sp.
YCM-SSP 9087 S.L. 17.5 mm
149. *Quisquilius inhaca* J.L.B. SMITH, 1949 アミメベンケイハゼ
YCM-P 6543 S.L. 25.2 mm
150. *Quisquilius* sp.
YCM-P 7561 S.L. 14.8 mm

Plate 12

151. *Asterropteryx* sp.
YCM-P 4469 S.L. 25.4 mm
152. *Eviota afelei* JORDAN and SEALE, 1903 シマミドリハゼ
YCM-P 4166 S.L. 14.2 mm
153. *Eviota bifasciatus* LACHNER and KARNELLA, 1980 オヨギイソハゼ
YCM-P 7586 S.L. 19.8 mm
154. *Eviota nigriventris* GILTAY, 1933 ソメワケイソハゼ
YCM-P 7587 S.L. 16.8 mm
155. *Trimma* sp.
YCM-P 6810 S.L. 18.6 mm

Plate 13

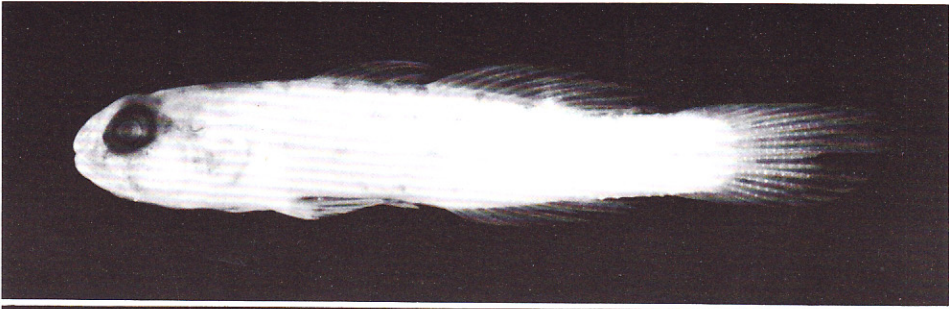
156. *Trimma* sp.
YCM-P 7320 S.L. 21.2 mm
157. *Trimma* sp.
YCM-P 7764 S.L. 20.0 mm

158. *Trimma* sp.
YCM-P 6816 S.L. 12.7 mm
159. *Valenciennea strigata* (BROUNSSONET, 1782) アカハチハゼ
YCM-P 6538 S.L. 121.4 mm
160. *Valenciennea* sp.
YCM-P 7302 S.L. 60.5 mm

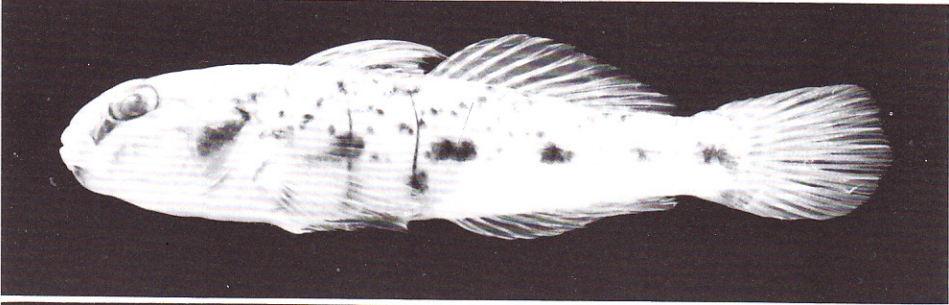
Plate 14

161. *Rhyacichthys aspro* (KUHL and VAN HASSELT in CUVIER and VALENCIENNES, 1836) ツバサハゼ
YCM-P 6601 S.L. 50.9 mm
- 162 a, b. *Kraemeria cunicularia* ROFEN, 1958 リュウキュウナミノコハゼ
YCM-SSP 9041 S.L. 30.8 mm
- 163 a, b. *Kraemeria tongaensis* ROFEN, 1958 トンガスナハゼ
YCM-SSP 9046 S.L. 31.1 mm
164. *Kraemeridae* gen. et sp. indet.
YCM-SSP 9168 S.L. 24.7 mm
165. *Gummellichthys pleurotaenia* BLEEKER, 1853 オオメワラスボ
YCM-SSP 9166 S.L. 59.3 mm

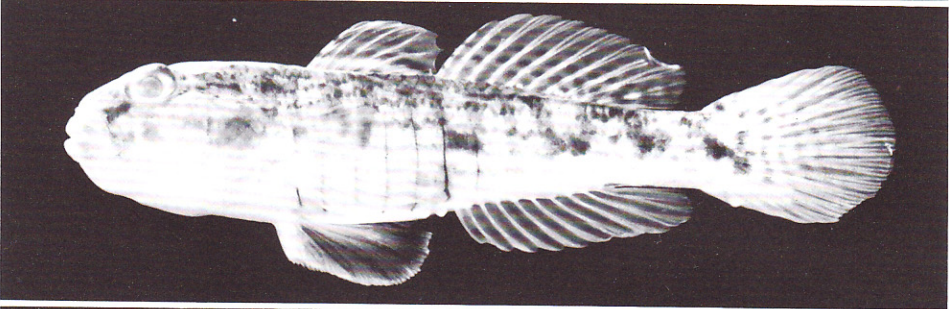
97



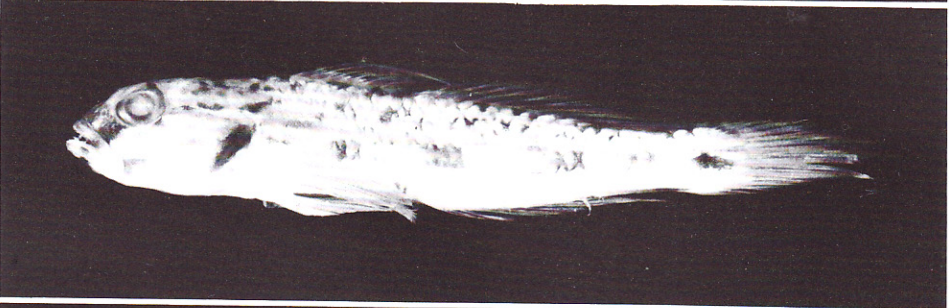
98



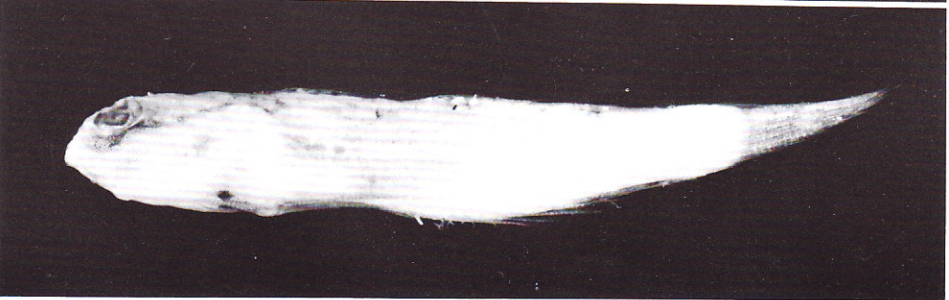
99



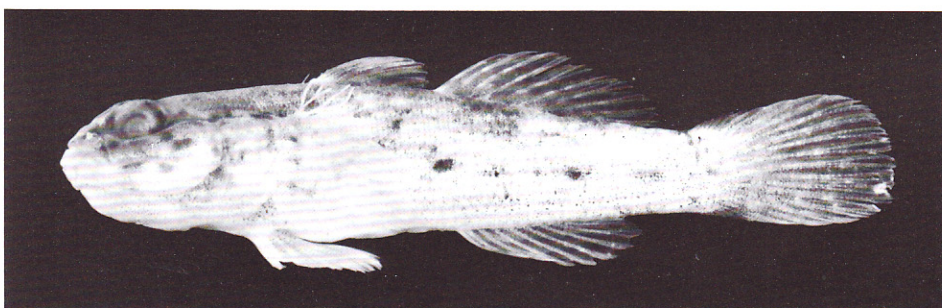
100



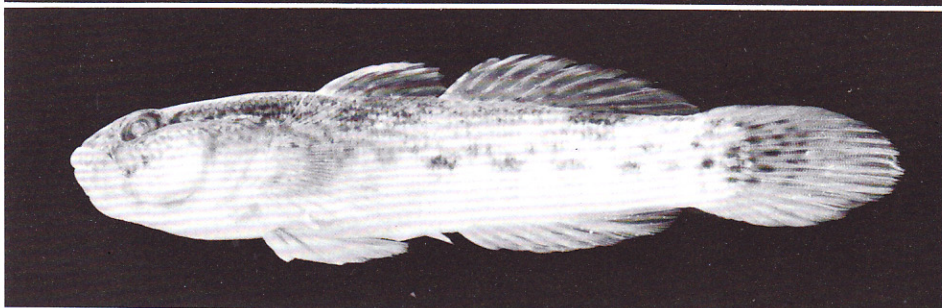
101



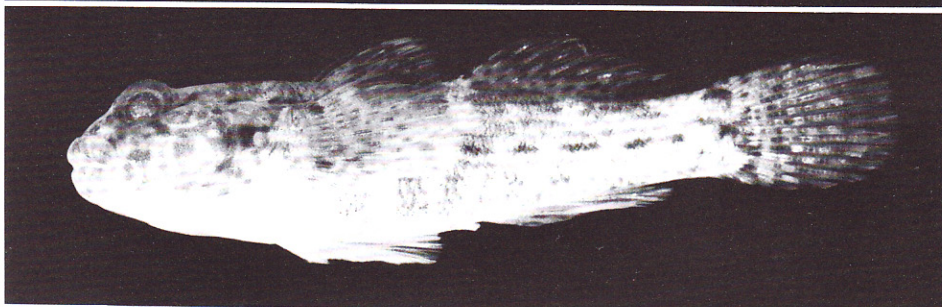
102



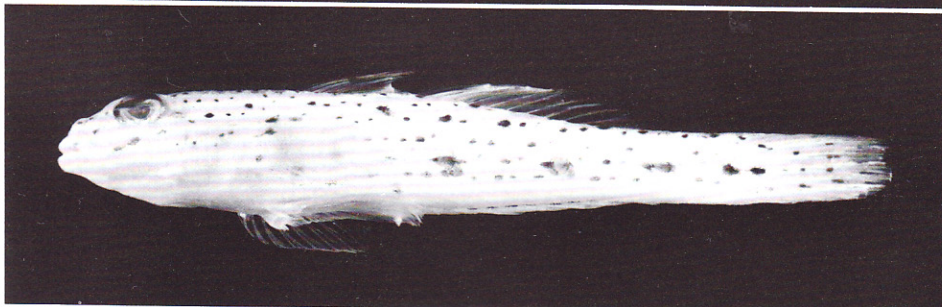
103



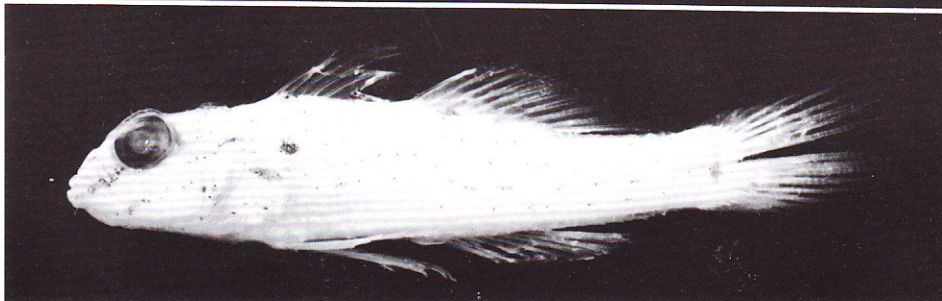
104



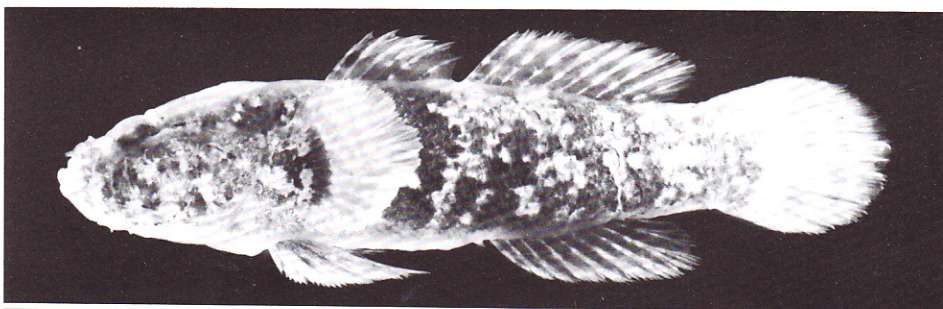
105



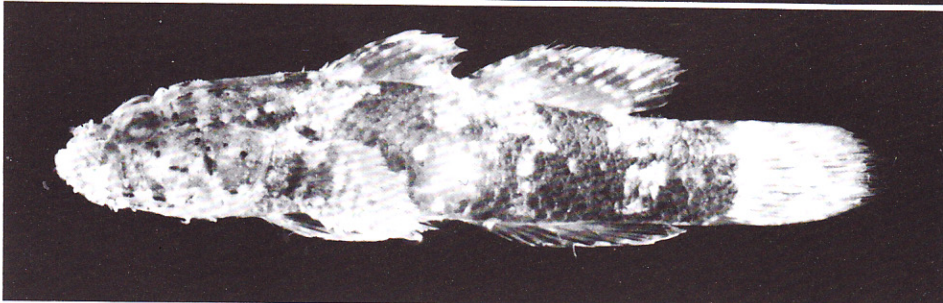
106



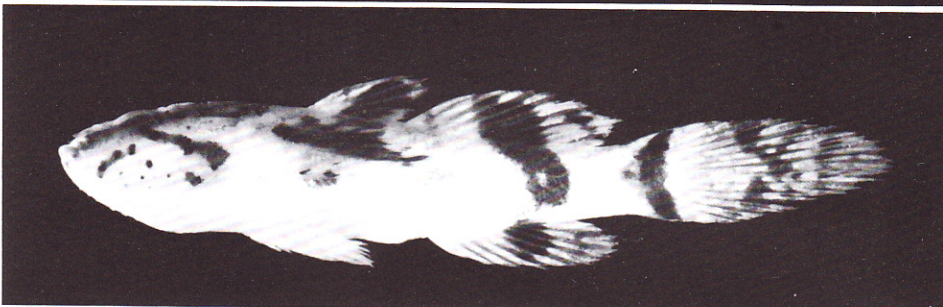
107



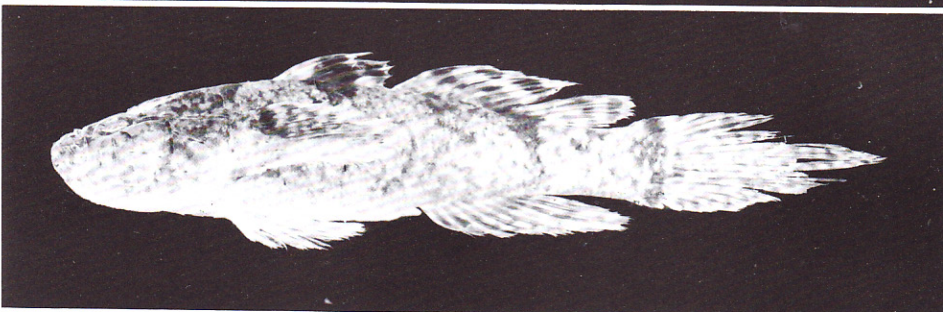
108



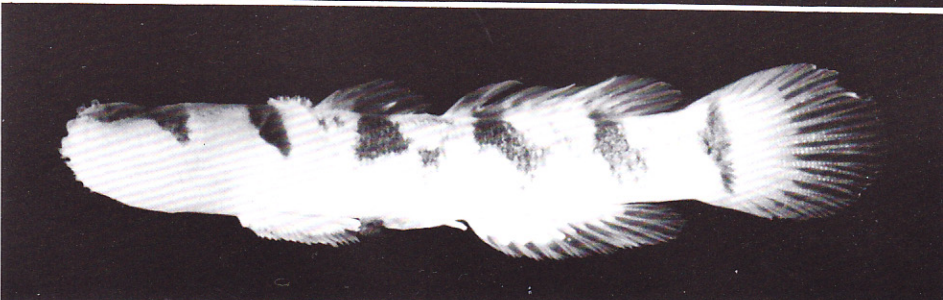
109



110



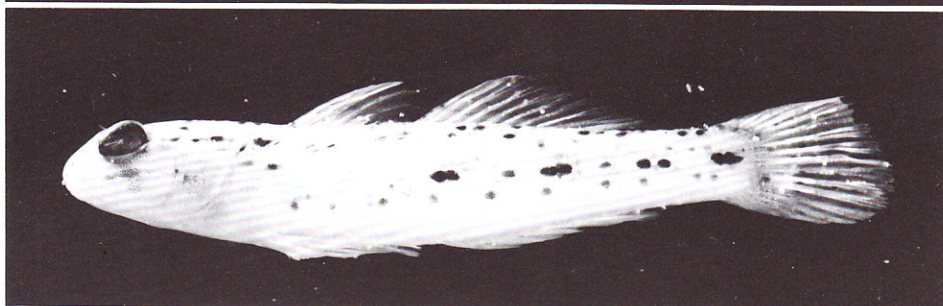
111



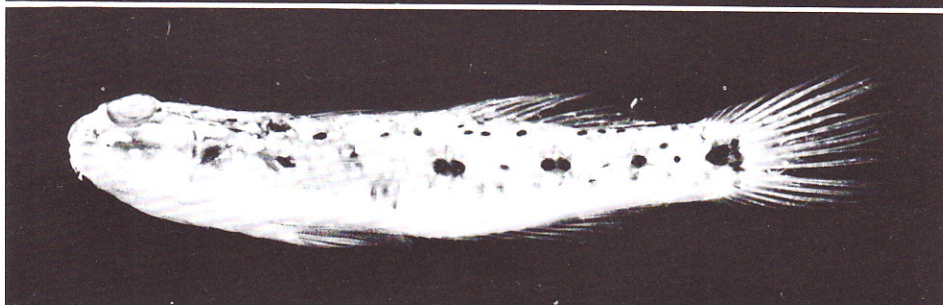
112



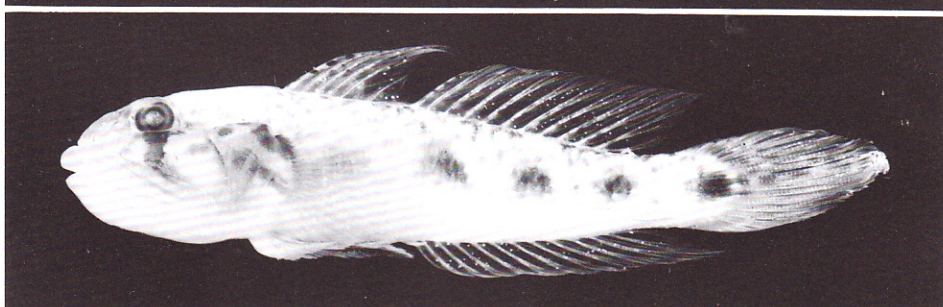
113



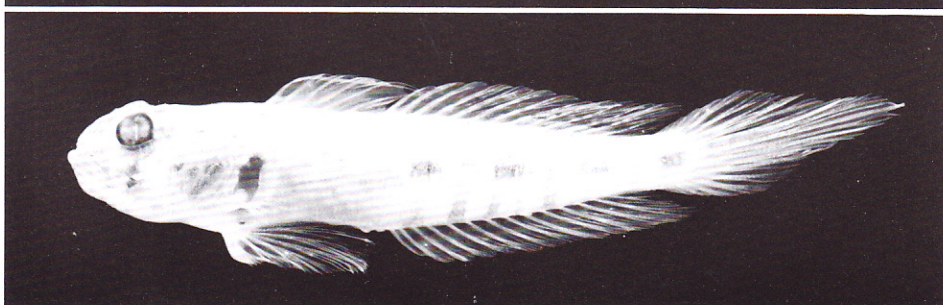
114



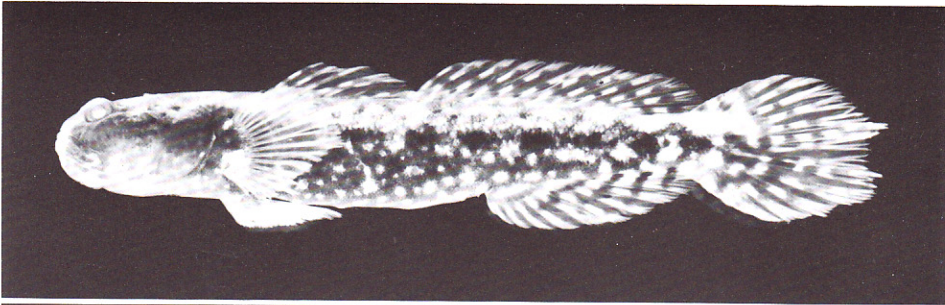
115



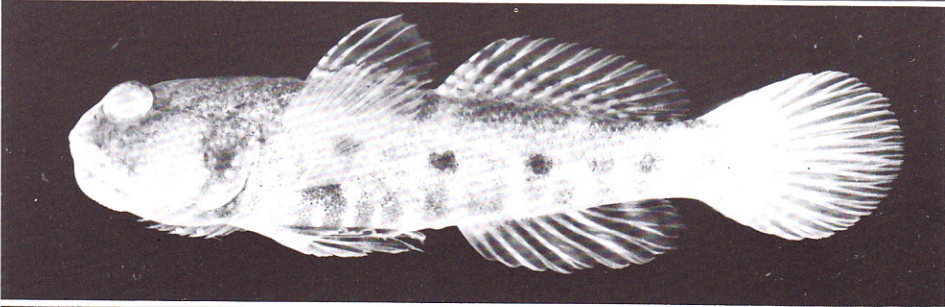
116



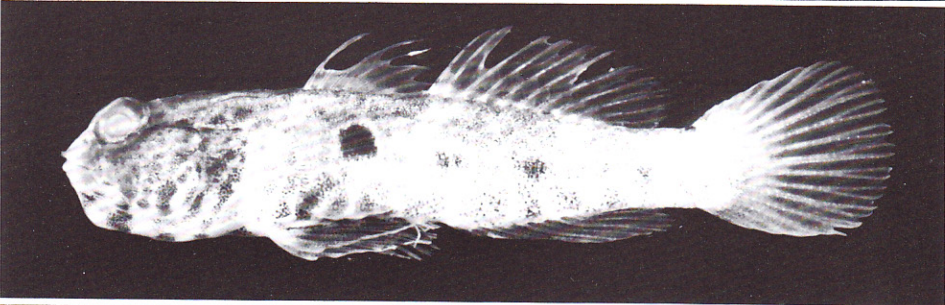
117



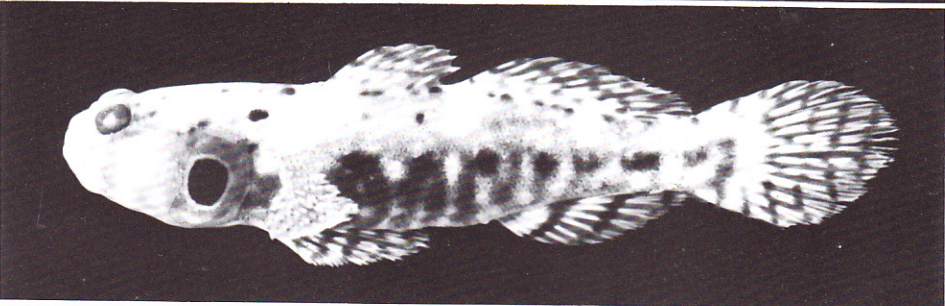
118



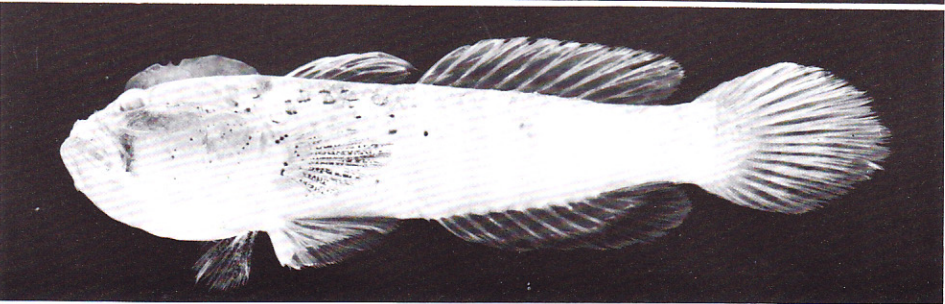
119



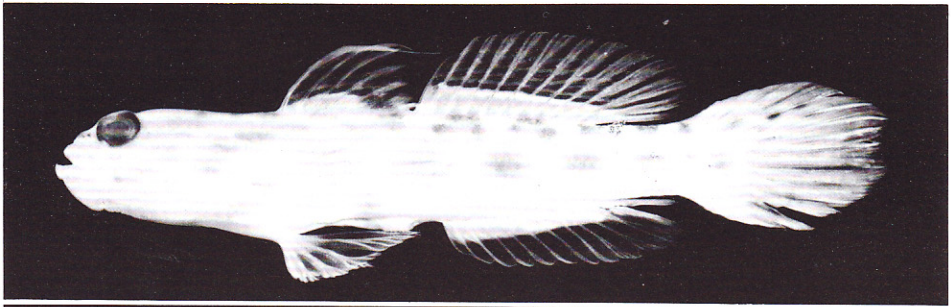
120



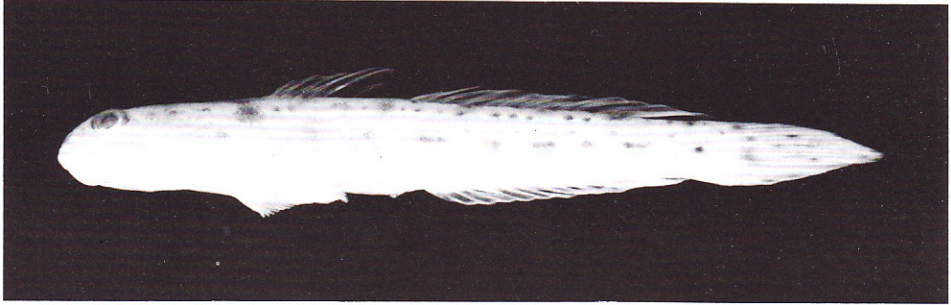
121



122



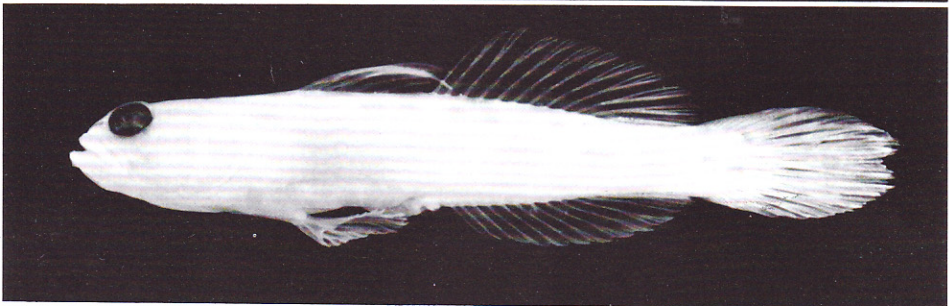
123



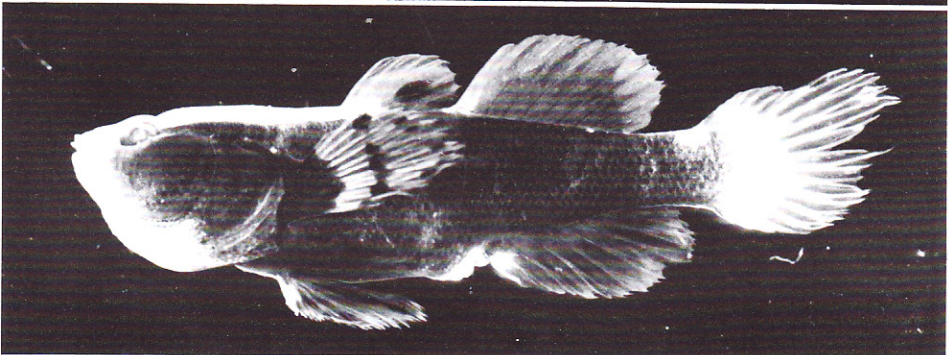
124



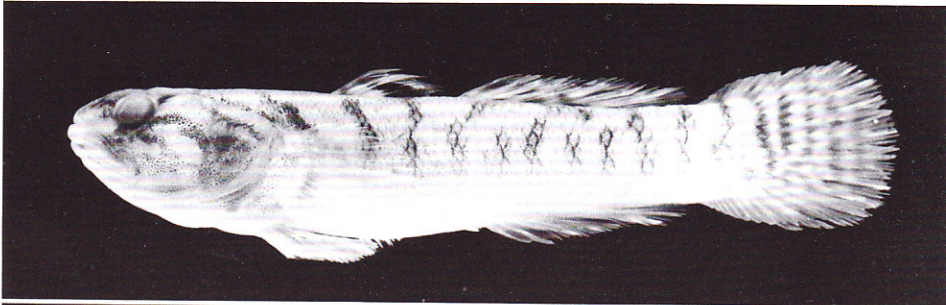
125



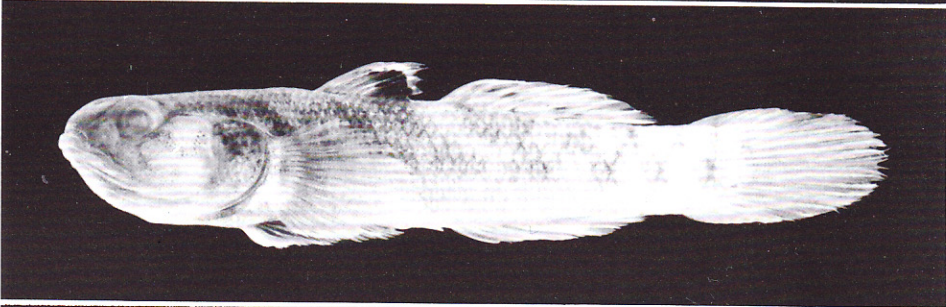
126



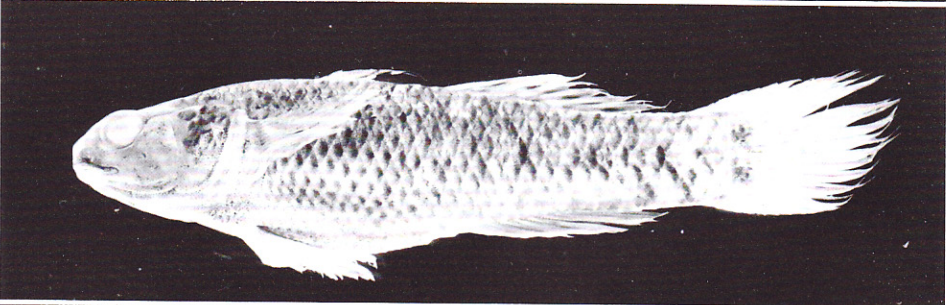
127



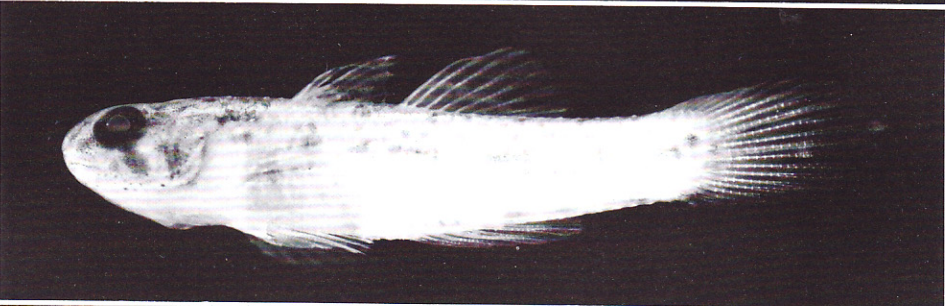
128



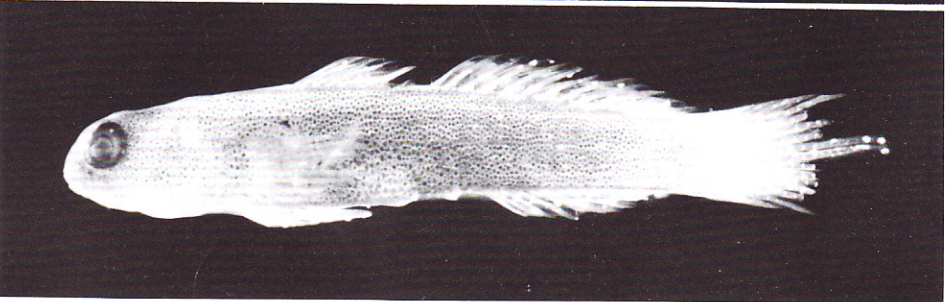
129



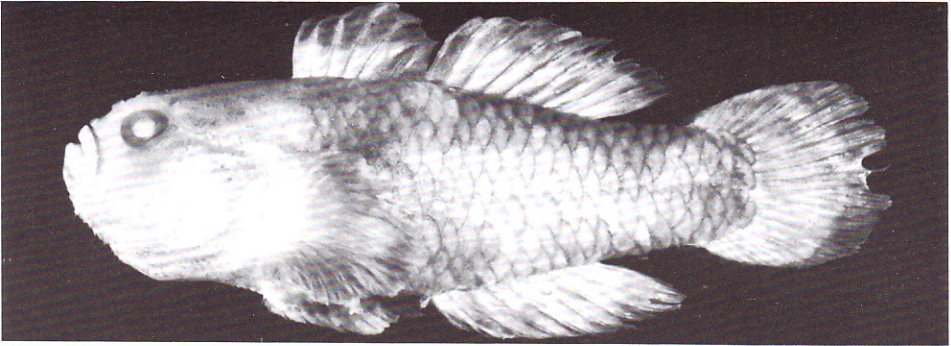
130



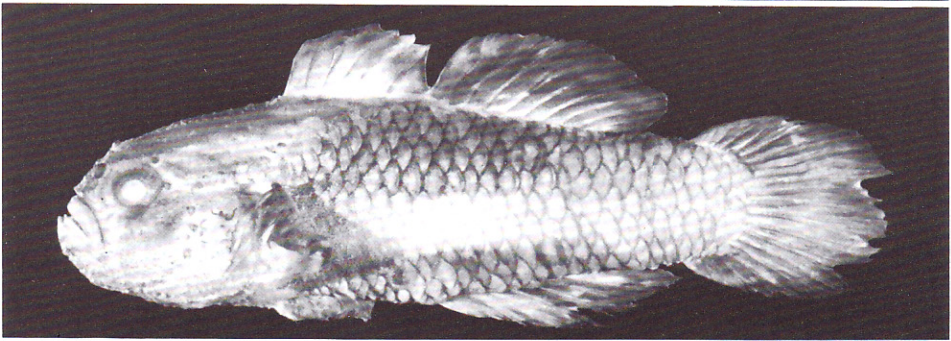
131



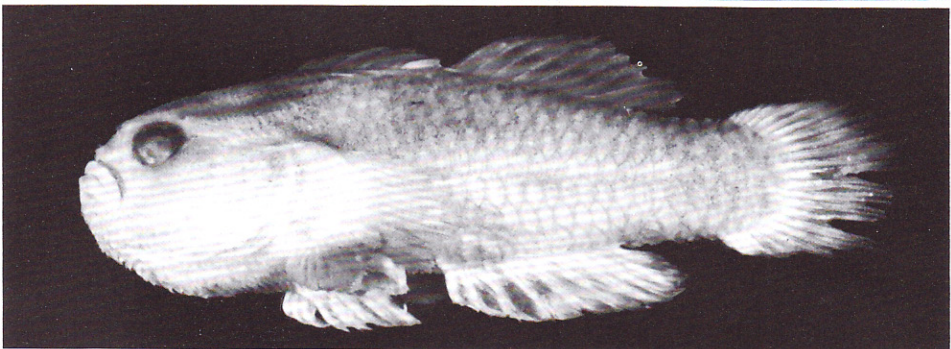
132



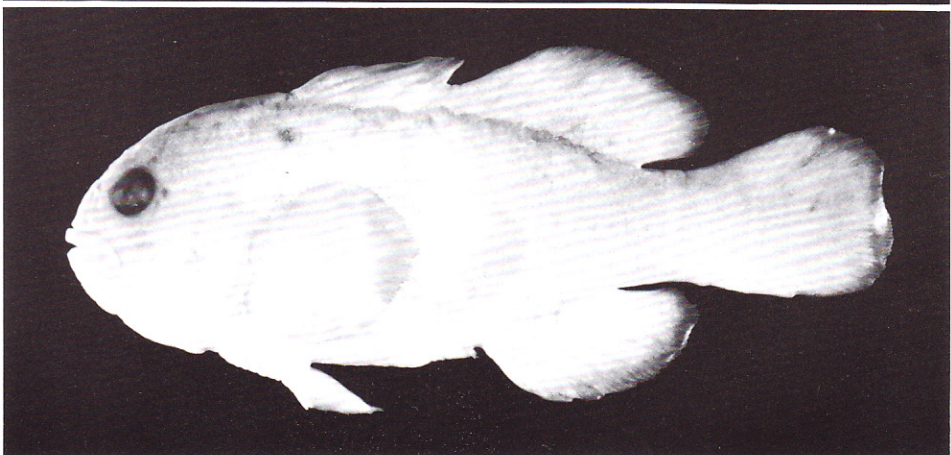
133



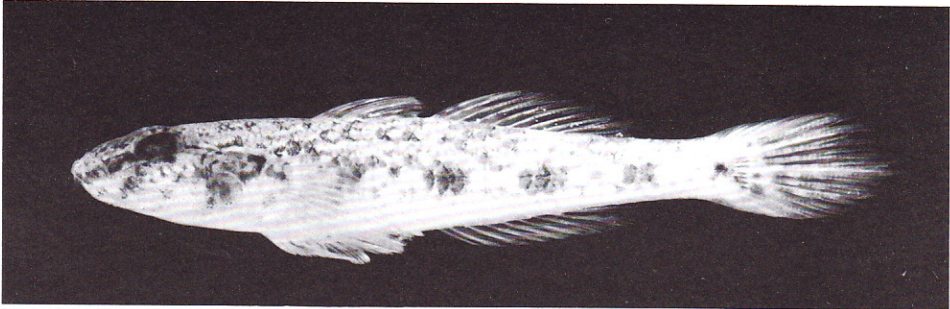
134



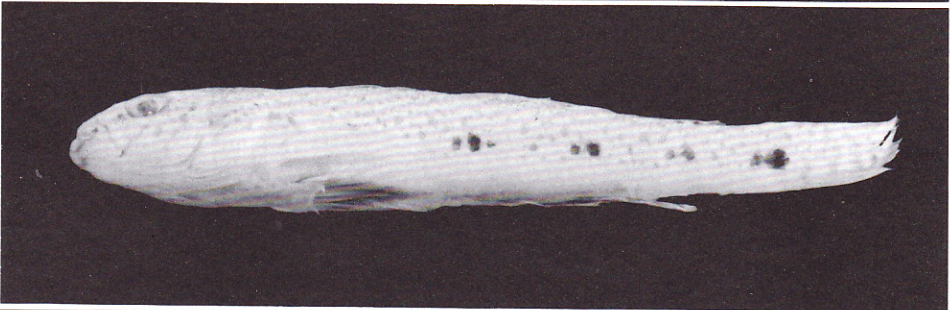
135



136



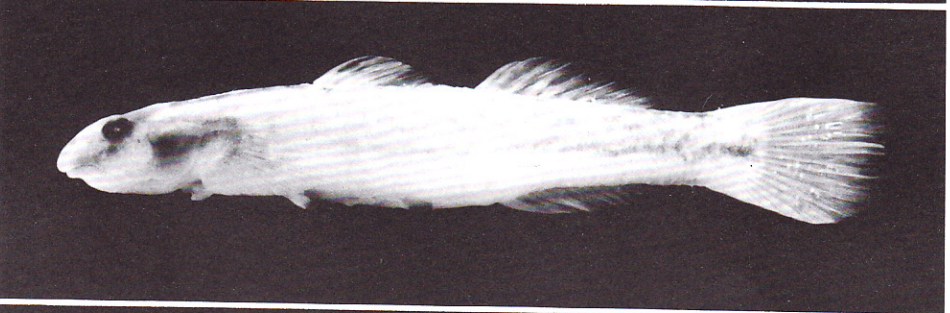
137



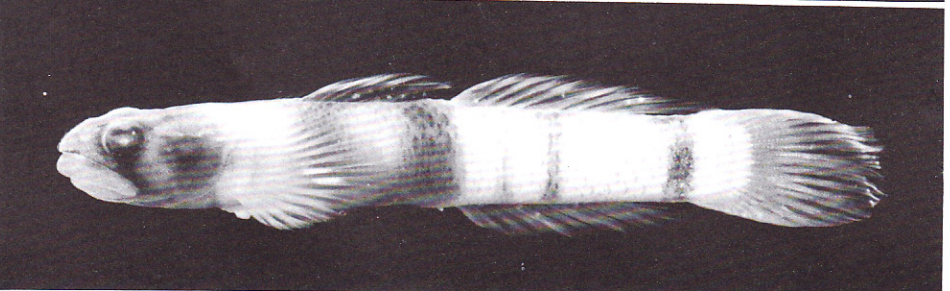
138



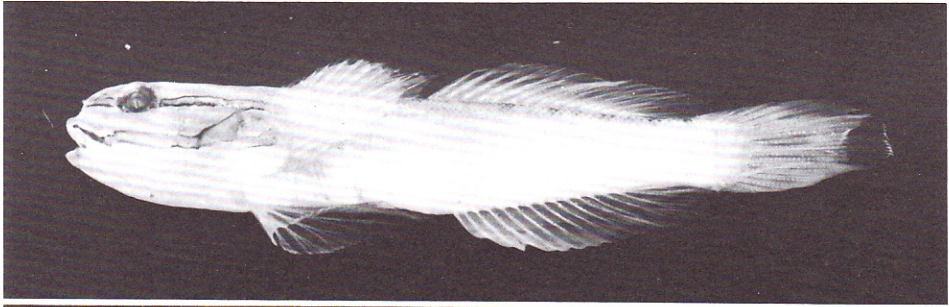
139



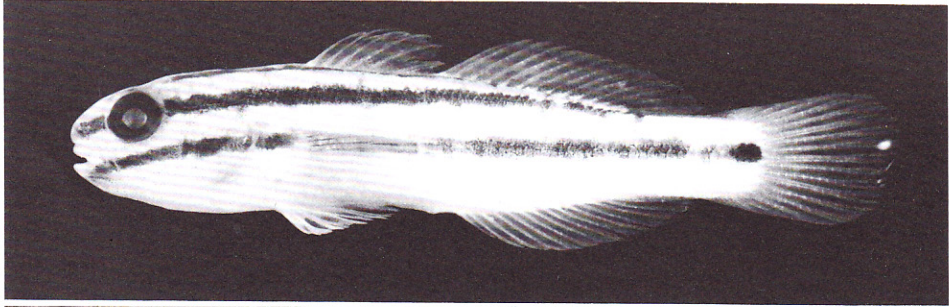
140



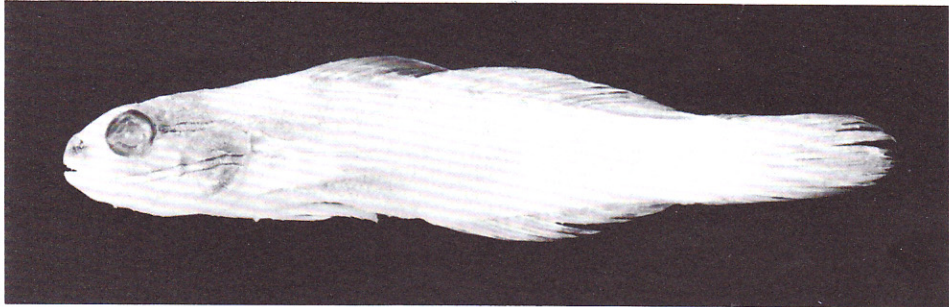
141



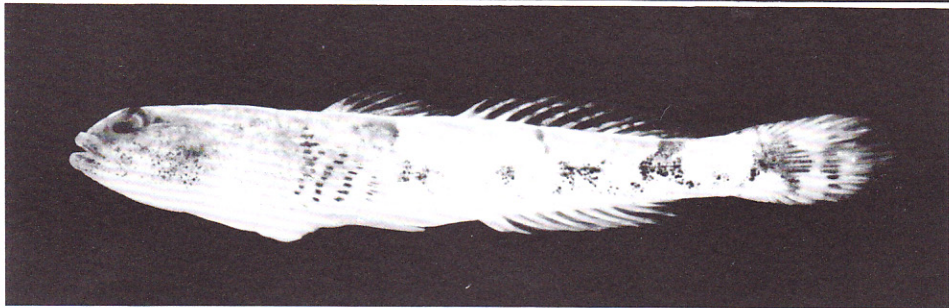
142



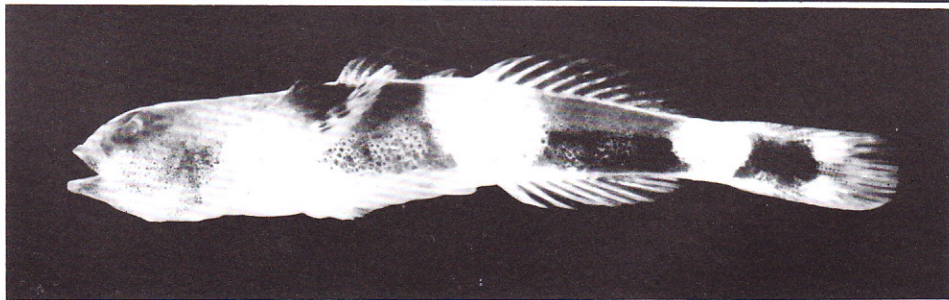
143



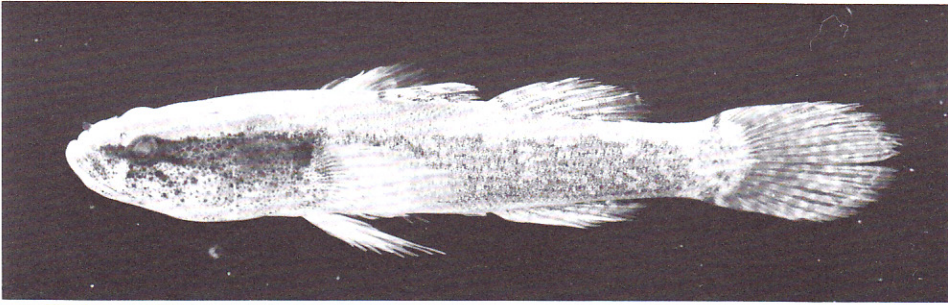
144



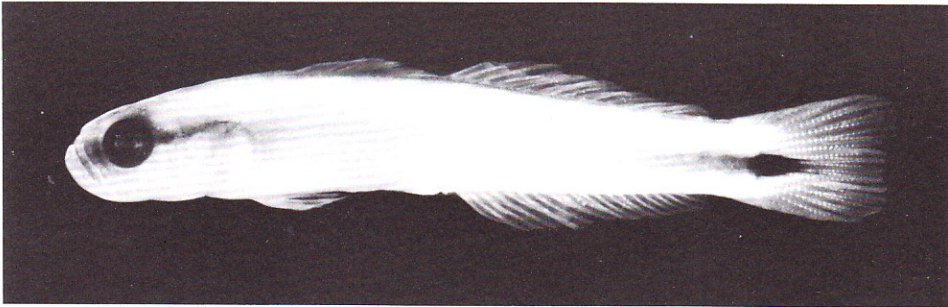
145



146



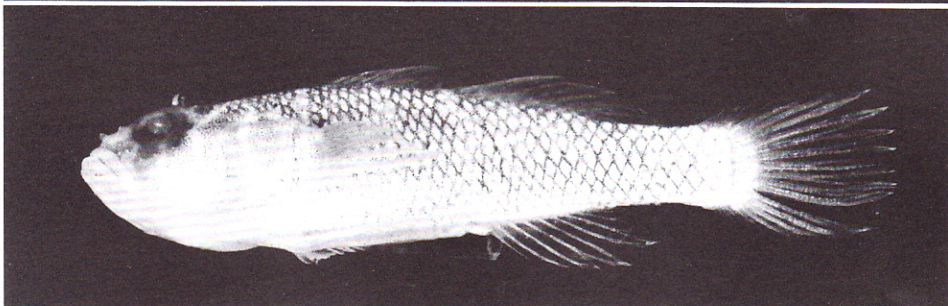
147



148



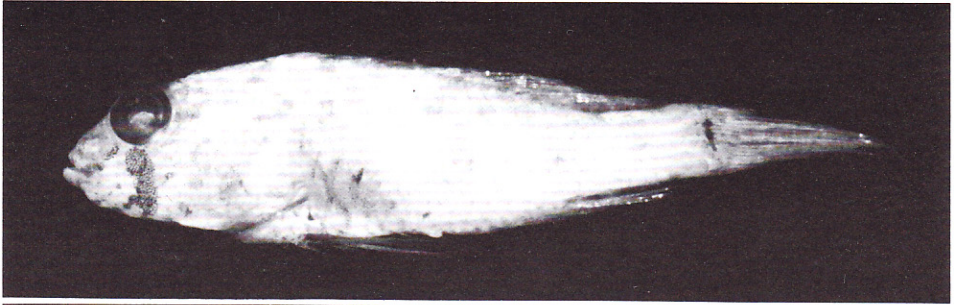
149



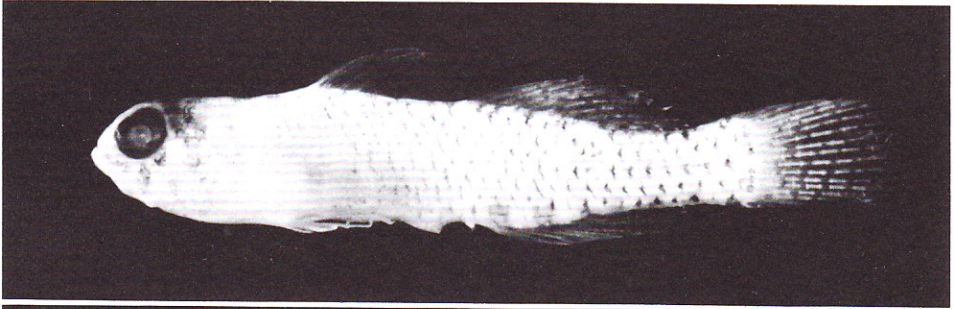
150



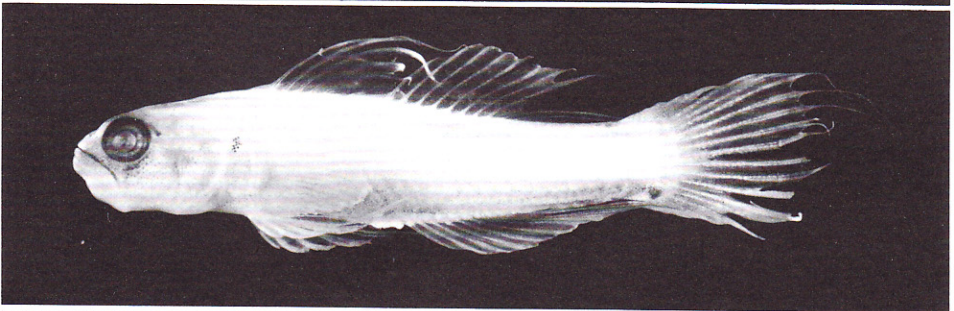
151



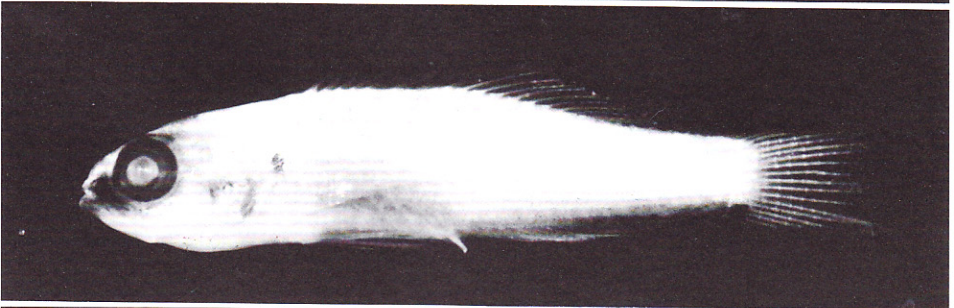
152



153



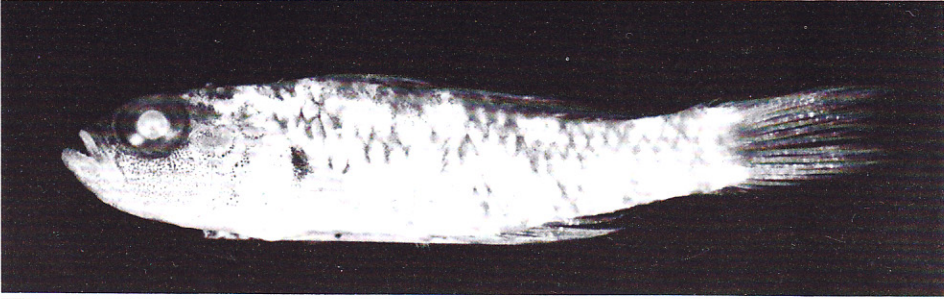
154



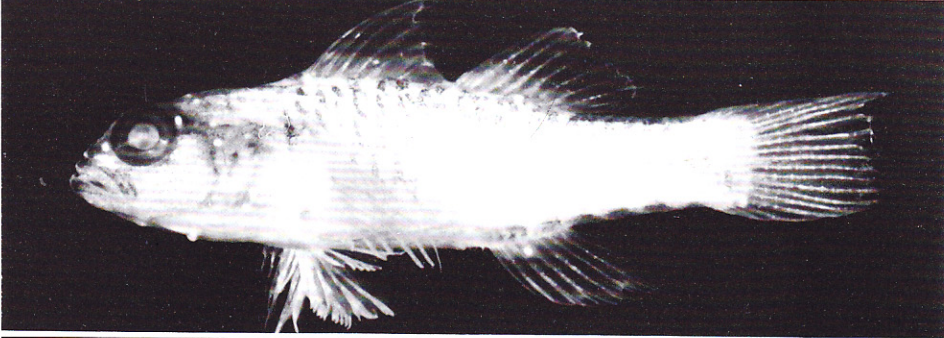
155



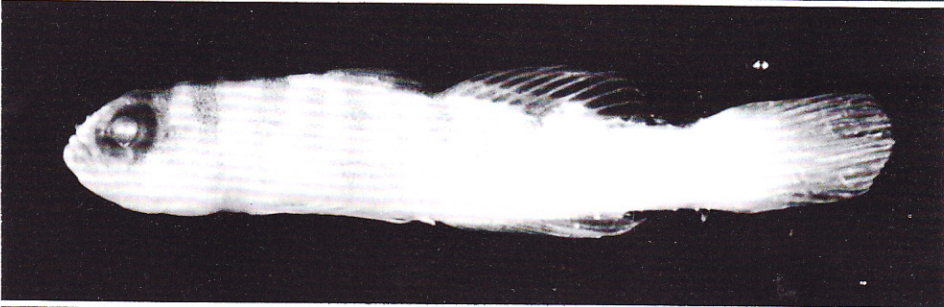
156



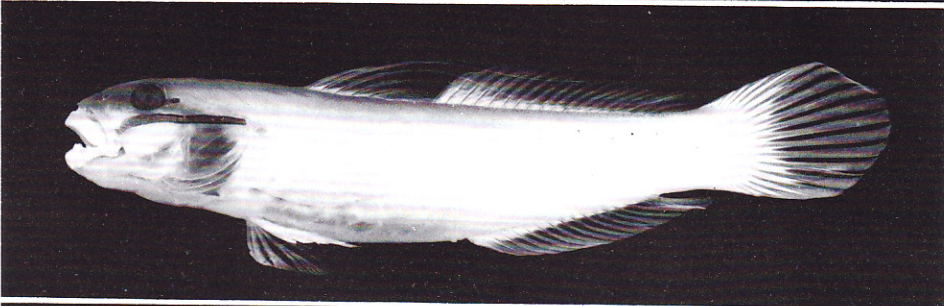
157



158



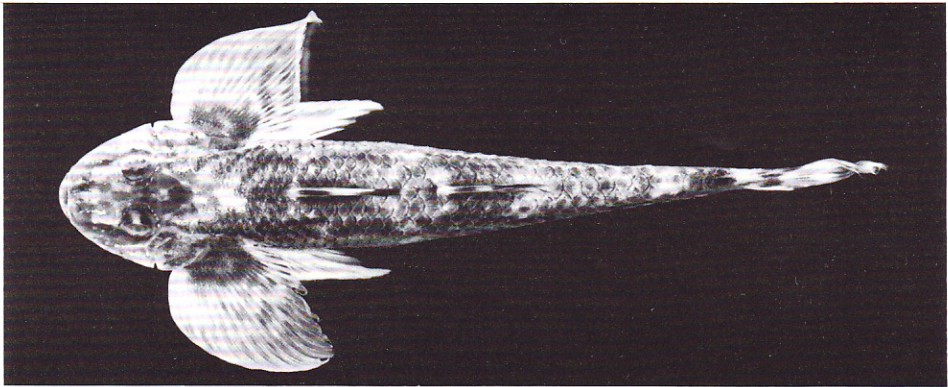
159



160

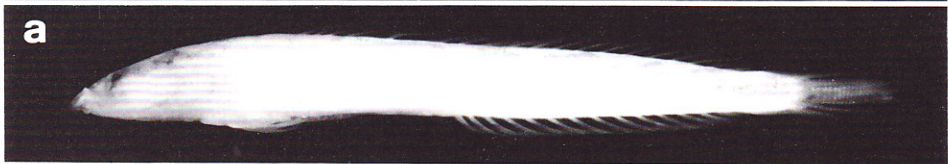


161



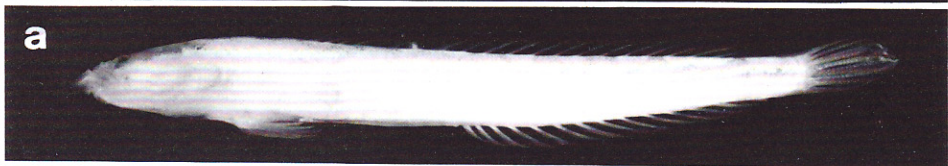
162

a

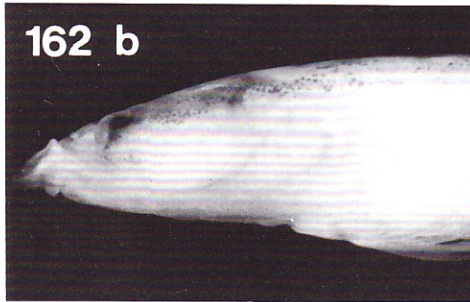


163

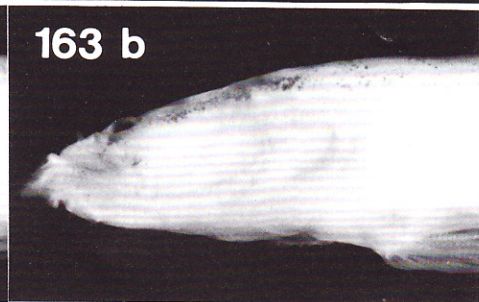
a



162 b



163 b



164



165

